

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	ビジネスコミュニケーション演習	
実務家教員	○	
学部・学科	情報ビジネス学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	1学期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	40時間	
授業コマ数	48コマ	
授業概要	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	グループワークの手法について基礎的な知識を身に付ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記	担当講師は前職にて5年間の営業経験があり、その実績を踏まえ、対人コミュニケーションの重要点や各種提案資料解釈をいかに相手に伝わる表現で伝えるかを重点に講義している	
授業計画	1 グループディスカッションとは1 2 3 グループディスカッションとは2 4 5 グループディスカッションの役割1 6 7 グループディスカッションの役割2 8 9 グループディスカッションの役割3 10 11 抽象テーマ型グループディスカ 12 ション1 13 抽象テーマ型グループディスカ 14 ション2 15 抽象テーマ型グループディスカ 16 ション3 17 抽象テーマ型グループディスカ 18 ション4 19 課題解決型グループディスカ 20 ション1 21 課題解決型グループディスカ 22 ション2 23 課題解決型グループディスカ 24 ション3	25 課題解決型グループディスカ 26 ション4 27 KJ法1 28 29 KJ法2 30 31 KJ法3 32 33 KJ法4 34 35 資料読み取り型グループディスカ 36 ション1 37 資料読み取り型グループディスカ 38 ション2 39 資料読み取り型グループディスカ 40 ション3 41 資料読み取り型グループディスカ 42 ション4 43 グループ研修1 44 45 グループ研修2 46 47 グループ研修3 48
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	一般教養	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	2学期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	60時間	
授業コマ数	72コマ	
授業概要	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	一般教養として社会で求められる漢字能力を身に付けることを目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 訓読み・送り仮名1 2 3 訓読み・送り仮名2 4 5 訓読み・送り仮名3 6 7 訓読み・送り仮名4 8 9 訓読み・送り仮名5 10 11 熟語1 12 13 熟語2 14 15 熟語3 16 17 熟語4 18 19 熟語5 20 21 熟語6 22 23 異字同訓・同音異義1 24 25 異字同訓・同音異義2 26 27 異字同訓・同音異義3 28 29 誤字訂正1 30 31 誤字訂正2 32 33 誤字訂正3 34 35 誤字訂正4 36	37 漢字の意味・使い方1 38 39 漢字の意味・使い方2 40 41 漢字の意味・使い方3 42 43 漢字の意味・使い方4 44 45 漢字の意味・使い方5 46 47 項目別模擬試験1 48 49 項目別模擬試験2 50 51 項目別模擬試験3 52 53 項目別模擬試験4 54 55 項目別模擬試験5 56 57 応用模擬試験1 58 59 応用模擬試験2 60 61 直前模擬試験1 62 63 直前模擬試験2 64 65 直前模擬試験3 66 67 直前模擬試験4 68 69 直前模擬試験5 70 71 直前模擬試験6 72
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	計算実務	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	60時間	
授業コマ数	72コマ	
授業概要	電卓に関する基礎知識の習得と、使用法を学び、技術向上に努める	
授業の進め方	卓の機能について学び、得た知識を演習を通して実践する	
達成目標	電卓検定の合格	
教科書	オリジナルテキスト、問題集	
特記		
授業計画	1 電卓検定対策1 2 3 電卓検定対策2 4 5 電卓検定対策3 6 7 電卓検定対策4 8 9 電卓検定対策5 10 11 電卓検定対策6 12 13 電卓検定対策7 14 15 電卓検定対策8 16 17 電卓検定対策9 18 19 電卓検定対策10 20 21 電卓検定対策11 22 23 電卓検定対策12 24 25 電卓検定対策13 26 27 電卓検定対策14 28 29 電卓検定対策15 30 31 電卓検定対策16 32 33 電卓検定対策17 34 35 電卓検定対策18 36	37 電卓検定対策19 38 39 電卓検定対策20 40 41 電卓検定対策21 42 43 電卓検定対策22 44 45 電卓検定対策23 46 47 電卓検定対策24 48 49 電卓検定対策25 50 51 電卓検定対策26 52 53 電卓検定対策27 54 55 電卓検定対策28 56 57 電卓検定対策29 58 59 電卓検定対策30 60 61 電卓検定対策31 62 63 電卓検定対策32 64 65 電卓検定対策33 66 67 電卓検定対策34 68 69 電卓検定対策35 70 71 電卓検定対策36 72
成績評価方法 (試験実施方法)	日々の授業への取り組み姿勢、電卓検定対策での得点集計結果、電卓検定試験での結果を総合的に見て評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス教養	
実務家教員		
学部・学科	情報ビジネス学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	2学期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	40時間	
授業コマ数	48コマ	
授業概要	人文科学、社会科学、自然科学に関する一般教養をバランスよく身に付ける。	
授業の進め方	主要5科目の基礎講義を行い、問題演習により知識向上を図る	
達成目標	模擬試験合格	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 国語1 2 3 国語2 4 5 国語3 6 7 国語4 8 9 国語5 10 11 社会1 12 13 社会2 14 15 社会3 16 17 社会4 18 19 社会5 20 21 数学1 22 23 数学2 24	25 数学3 26 27 数学4 28 29 数学5 30 31 英語1 32 33 英語2 34 35 英語3 36 37 英語4 38 39 英語5 40 41 模擬試験1 42 43 模擬試験2 44 45 模擬試験3 46 47 模擬試験4 48
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	一般教養基礎知識	
実務家教員		
学部・学科	情報ビジネス学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	3学期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	40時間	
授業コマ数	48コマ	
授業概要	就職活動の筆記試験で問われる、基礎的な教養を学ぶ	
授業の進め方	中学、高校程度の主要5科目の内、非言語、言語中心に講義、演習を行う	
達成目標	非言語、言語力の向上	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 非言語応用1 2 3 非言語応用2 4 5 非言語応用3 6 7 非言語応用4 8 9 非言語応用5 10 11 非言語応用6 12 13 非言語応用7 14 15 非言語応用8 16 17 非言語応用9 18 19 非言語応用10 20 21 非言語応用11 22 23 言語応用1 24	25 言語応用2 26 27 言語応用3 28 29 言語応用4 30 31 言語応用5 32 33 言語応用6 34 35 言語応用7 36 37 言語応用8 38 39 言語応用9 40 41 言語応用10 42 43 言語応用11 44 45 模擬試験1 (非言語応用) 46 47 模擬試験2 (言語応用) 48
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	プレゼンテーション基礎知識	
実務家教員授業	○	
学部・学科	情報ビジネス学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	1学期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	24コマ	
授業概要	企画から発表までの一連の流れ	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	プレゼンテーションに必要な要素の理解、演習	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	担当講師は前職にて5年間の法人提案営業に携わった経験を踏まえ、わかりやすい資料作成、相手にストレートに伝わるプレゼンテーションを客観的立場に立って講義している	
授業計画	1	プレゼンテーションとは何か
	2	
	3	プレゼンテーションの種類
	4	
	5	企画1
	6	
	7	企画2
	8	
	9	情報収集1
	10	
	11	情報収集2
	12	
	13	シナリオ作成1
	14	
	15	シナリオ作成2
	16	
	17	コンテンツ作成1
	18	
	19	コンテンツ作成2
	20	
	21	話し方の基礎知識、発表練習
	22	
	23	発表
	24	
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	経営学概論
実務家教員授業	○
学部・学科	情報ビジネス学科2年制
履修年次	1年次
開講学期	2学期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	24コマ
授業概要	社会の基本的な成り立ちや考え方・専門用語を理解する
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	社会人として必要な会社の仕組み・専門用語を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	担当講師は前職で3年間経営に携わった実績を活かし経営に関する実務的な観点から企業経営、経営学に関する内容を講義する
授業計画	1 企業のライフステージ 2 3 経営理念と経営戦略 4 5 経営企画の必要性、事業承継 6 7 中小企業の資金調達 8 9 企業を取り巻くリスク 10 11 外部環境分析の重要性、マクロ環境分析・業界分析 12 13 利益管理、予算管理 14 15 企業形態としての会社、株式会社の機関 16 17 株式の譲渡と相続、株主総会、取締役、代表取締役、取締役会 18 19 会社の事業の拡大と整理 20 21 コンプライアンス経営の実践 22 23 募集・採用、勤怠管理、退職・解雇 24
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容					
授業科目	簿記 簿記通論					
実務家教員授業						
学部・学科	情報ビジネス学科 2年制					
履修年次	1年次					
開講学期	後期					
科目区分	1学期					
授業方法	演習					
授業時間	90時間					
授業コマ数	108コマ					
授業概要	株式会社における複式簿記の基本原理を学ぶ					
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る					
達成目標	簿記の基本原理の理解する					
教科書	オリジナルテキスト					
特記						
授業計画	1	簿記の目的、一巡の流れ	37	その他の債権債務1	73	純資産会計3
	2		38		74	
	3	商品売買1	39	その他の債権債務2	75	純資産会計4
	4		40		76	
	5	商品売買2	41	その他の債権債務3	77	純資産会計5
	6		42		78	
	7	商品売買3	43	その他の債権債務4	79	純資産会計6
	8		44		80	
	9	商品売買4	45	その他の債権債務5	81	英米式決算法1
	10		46		82	
	11	商品売買5	47	その他の債権債務6	83	英米式決算法2
	12		48		84	
	13	商品売買6	49	その他の債権債務7	85	英米式決算法3
	14		50		86	
	15	商品売買7	51	その他の債権債務8	87	決算資料1
	16		52		88	
	17	決算整理1	53	その他の債権債務9	89	決算資料2
18		54		90		
19	決算整理2	55	その他の債権債務10	91	決算資料3	
20		56		92		
21	現金及び預金1	57	費用及び収益の決算整理	93	決算資料4	
22		58	1	94		
23	現金及び預金2	59	費用及び収益の決算整理	95	決算資料5	
24		60	2	96		
25	現金及び預金3	61	費用及び収益の決算整理	97	決算資料6	
26		62	3	98		
27	手形1	63	費用及び収益の決算整理	99	決算資料7	
28		64	4	100		
29	手形2	65	費用及び収益の決算整理	101	決算資料8	
30		66	5	102		
31	手形3	67	費用及び収益の決算整理	103	決算資料9	
32		68	6	104		
33	決算整理2	69	純資産会計1	105	決算資料10	
34		70		106		
35	決算整理3	71	純資産会計2	107	決算資料11	
36		72		108		
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト					
備考						

授業概要(シラバス)

タイトル	内容					
授業科目	簿記 簿記原理					
実務家教員授業						
学部・学科	情報ビジネス学科2年制					
履修年次	1年次					
開講学期	1学期					
科目区分	選択					
授業方法	演習					
授業時間	90時間					
授業コマ数	108コマ					
授業概要	ビジネスの基本知識としての財務分析を学習する。					
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な問題演習					
達成目標	財務諸表の見方や初歩的な財務分析を理解する					
教科書	オリジナルテキスト					
特記						
授業計画	1	マーケティングと会社の目的	37	貸借対照表2	73	損益分岐分析1
	2		38		74	
	3	損益計算書1	39	貸借対照表3	75	損益分岐分析2
	4		40		76	
	5	損益計算書2	41	貸借対照表4	77	損益分岐分析3
	6		42		78	
	7	損益計算書3	43	貸借対照表5	79	損益分岐分析4
	8		44		80	
	9	損益計算書4	45	流動比率	81	損益分岐分析5
	10		46		82	
	11	損益計算書5	47	固定比率	83	損益分岐分析6
	12		48		84	
	13	利益率と原価率1	49	事例研究4	85	損益分岐分析7
	14		50		86	
	15	利益率と原価率2	51	事例研究5	87	損益分岐分析8
	16		52		88	
	17	事例研究1	53	事例研究6	89	損益分岐分析9
	18		54		90	
	19	事例研究2	55	各種比率1	91	損益分岐分析10
	20		56		92	
	21	事例研究3	57	各種比率2	93	財務分析応用1
	22		58		94	
	23	利益原理1	59	各種比率3	95	財務分析応用2
	24		60		96	
	25	利益原理2	61	各種比率4	97	財務分析応用3
	26		62		98	
	27	利益原理3	63	各種比率5	99	財務分析応用4
	28		64		100	
	29	貸借対照表1	65	各種比率6	101	財務分析応用5
	30		66		102	
	31	貸借対照表2	67	事例研究7	103	財務分析応用6
	32		68		104	
	33	貸借対照表3	69	事例研究8	105	財務分析応用7
	34		70		106	
	35	貸借対照表4	71	事例研究9	107	財務分析応用8
	36		72		108	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験					
備考						

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	簿記 3級総合	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	1学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	60時間	
授業コマ数	72コマ	
授業概要	基礎レベルではやや難しい会計処理を問題演習を通じて学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	簿記3級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト、問題集	
特記		
授業計画	1 商業簿記総まとめ(基礎編) 1 2 3 商業簿記総まとめ(基礎編) 2 4 5 商業簿記総まとめ(基礎編) 3 6 7 商業簿記総まとめ(基礎編) 4 8 9 商業簿記総まとめ(基礎編) 5 10 11 商業簿記総まとめ(基礎編) 6 12 13 商業簿記総まとめ(基礎編) 7 14 15 商業簿記総まとめ(基礎編) 8 16 17 商業簿記総まとめ(基礎編) 9 18 19 商業簿記総まとめ(基礎編) 10 20 21 商業簿記総まとめ(基礎編) 11 22 23 商業簿記総まとめ(基礎編) 12 24 25 商業簿記総まとめ(基礎編) 13 26 27 商業簿記総まとめ(基礎編) 14 28 29 商業簿記総まとめ(基礎編) 15 30 31 商業簿記総まとめ(応用編) 1 32 33 商業簿記総まとめ(応用編) 2 34 35 商業簿記総まとめ(応用編) 3 36	37 商業簿記総まとめ(応用編) 4 38 39 商業簿記総まとめ(応用編) 5 40 41 商業簿記総まとめ(応用編) 6 42 43 商業簿記総まとめ(応用編) 7 44 45 商業簿記総まとめ(応用編) 8 46 47 商業簿記総まとめ(応用編) 9 48 49 商業簿記総まとめ(応用編) 10 50 51 商業簿記総まとめ(応用編) 11 52 53 商業簿記総まとめ(応用編) 12 54 55 商業簿記総まとめ(応用編) 13 56 57 商業簿記総まとめ(応用編) 14 58 59 商業簿記総まとめ(応用編) 15 60 61 総合問題演習1 62 63 総合問題演習2 64 65 総合問題演習3 66 67 総合問題演習4 68 69 総合問題演習5 70 71 総合問題演習6 72
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	簿記 初等工業会計論	
実務家教員		
学部・学科	情報ビジネス学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	1学期、2学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	50時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	工企業を前提とする会計処理の基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	工業簿記の基礎知識を理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 工業簿記の基礎(基礎編) 2 3 個別原価計算における工業簿記の記 4 帳体系(基礎編) 5 材料費会計(基礎編)1 6 7 材料費会計(基礎編)2 8 9 労務費会計(基礎編)1 10 11 労務費会計(基礎編)2 12 13 経費会計(基礎編)1 14 15 経費会計(基礎編)2 16 17 製造間接費会計(基礎編)1 18 19 製造間接費会計(基礎編)2 20 21 製造間接費差異の原因別分析(基礎 22 編)1 23 製造間接費差異の原因別分析(基礎 24 編)2 25 製造間接費差異の原因別分析(基礎 26 編)3 27 工企業の財務諸表(基礎編)1 28 29 工企業の財務諸表(基礎編)2 30	31 確認テスト1 32 33 部門別計算①(基礎編)1 34 35 部門別計算①(基礎編)2 36 37 部門別計算①(基礎編)3 38 39 部門別計算①(基礎編)4 40 41 部門別計算①(基礎編)5 42 43 総合原価計算における工業簿記の記 44 帳体系(基礎編)1 45 総合原価計算における工業簿記の記 46 帳体系(基礎編)2 47 総合原価計算における工業簿記の記 48 帳体系(基礎編)3 49 減損および仕損(基礎編)1 50 51 減損および仕損(基礎編)2 52 53 工業簿記総まとめ(基礎編)1 54 55 工業簿記総まとめ(基礎編)2 56 57 工業簿記総まとめ(基礎編)3 58 59 確認テスト2 60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	簿記 初等原価計算論	
実務家教員		
学部・学科	情報ビジネス学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	1学期、2学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	50時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	工企業を前提とする会計処理の基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	工業簿記の基礎知識を理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 原価計算の基礎(基礎編) 2 3 個別原価計算における工業簿記の記 4 帳体系(基礎編) 5 総合原価計算における工業簿記の記 6 帳体系(基礎編) 7 単純総合原価計算(基礎編)1 8 9 単純総合原価計算(基礎編)2 10 11 単純総合原価計算(基礎編)3 12 13 工程別総合原価計算(基礎編)1 14 15 工程別総合原価計算(基礎編)2 16 17 工程別総合原価計算(基礎編)3 18 19 組別総合原価計算(基礎編)1 20 21 組別総合原価計算(基礎編)2 22 23 組別総合原価計算(基礎編)3 24 25 等級別総合原価計算(基礎編)1 26 27 等級別総合原価計算(基礎編)2 28 29 等級別総合原価計算(基礎編)3 30	31 標準原価計算①(基礎編)1 32 33 標準原価計算①(基礎編)2 34 35 標準原価計算①(基礎編)3 36 37 CVP分析①(基礎編)1 38 39 CVP分析①(基礎編)2 40 41 CVP分析①(基礎編)3 42 43 CVP分析①(基礎編)4 44 45 直接原価計算(基礎編)1 46 47 直接原価計算(基礎編)2 48 49 直接原価計算(基礎編)3 50 51 直接原価計算(基礎編)4 52 53 原価計算総まとめ1 54 55 原価計算総まとめ2 56 57 原価計算総まとめ3 58 59 確認テスト 60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	簿記 帳簿組織論	
実務家教員	○	
学部・学科	情報ビジネス学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	1学期、2学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	50時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	試算表、精算表、財務報告書など他の会計書類の関連性について体系的に学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な問題演習	
達成目標	商企業を前提とした、伝票会計、帳簿組織などの記帳技術を習得	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	担当講師は、会計事務所勤務及び経理業務担当の経験を活かし、会計の実務に関連した内容を踏まえながら授業を展開している	
授業計画	1 株式会社の純資産1 2 3 株式会社の純資産2 4 5 株式会社の純資産3 6 7 株式会社の純資産4 8 9 株式会社の純資産5 10 11 企業結合1 12 13 企業結合2 14 15 企業結合3 16 17 税金1 18 19 税金2 20 21 税金3 22 23 税金4 24 25 決算1 26 27 決算2 28 29 決算3 30	31 本支店会計1 32 33 本支店会計2 34 35 本支店会計3 36 37 本支店会計4 38 39 本支店会計5 40 41 連結会計1 42 43 連結会計2 44 45 連結会計3 46 47 連結会計4 48 49 連結会計5 50 51 連結会計6 52 53 連結会計7 54 55 連結会計8 56 57 連結会計9 58 59 連結会計10 60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	簿記 会社会計原論	
実務家教員	○	
学部・学科	情報ビジネス学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	1学期、2学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	50時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	株式会社を前提とした一般的な企業取引に対する会計処理を学ぶ。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	株式会社会計の基本理解を目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	担当講師は、会計事務所勤務及び経理業務担当の経験を活かし、会計の実務に関連した内容を踏まえながら授業を展開している	
授業計画	1 総論 2 3 現金預金1 4 5 現金預金2 6 7 現金預金3 8 9 現金預金4 10 11 債権債務1 12 13 債権債務2 14 15 債権債務3 16 17 債権債務4 18 19 債権債務5 20 21 商品売買1 22 23 商品売買2 24 25 商品売買3 26 27 商品売買4 28 29 商品売買5 30	31 固定資産1 32 33 固定資産2 34 35 固定資産3 36 37 固定資産4 38 39 固定資産5 40 41 債務保証等1 42 43 債務保証等2 44 45 債務保証等3 46 47 引当金1 48 49 引当金2 50 51 収益と費用1 52 53 収益と費用2 54 55 為替換算会計1 56 57 為替換算会計2 58 59 為替換算会計3 60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	簿記 2級総合	
実務家教員		
学部・学科	情報ビジネス学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	1学期、2学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	40時間	
授業コマ数	48コマ	
授業概要	商企業および工企業の会計処理を問題演習を通じて学び、本支店会計、連結会計、原価計算の基礎も学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	簿記2級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 商業簿記総まとめ(基礎編) 1 2 3 商業簿記総まとめ(基礎編) 2 4 5 商業簿記総まとめ(基礎編) 3 6 7 商業簿記総まとめ(基礎編) 4 8 9 商業簿記総まとめ(基礎編) 5 10 11 商業簿記総まとめ(基礎編) 6 12 13 商業簿記総まとめ(基礎編) 7 14 15 商業簿記総まとめ(基礎編) 8 16 17 工業簿記・原価計算総まとめ(基礎編) 1 18 19 工業簿記・原価計算総まとめ(基礎編) 2 20 21 工業簿記・原価計算総まとめ(基礎編) 3 22 23 工業簿記・原価計算総まとめ(基礎編) 4 24	25 工業簿記・原価計算総まとめ(基礎編) 5 26 27 工業簿記・原価計算総まとめ(基礎編) 6 28 29 工業簿記・原価計算総まとめ(基礎編) 7 30 31 工業簿記・原価計算総まとめ(基礎編) 8 32 33 総合問題演習(テスト形式_基礎編) 1 34 35 総合問題演習(テスト形式_基礎編) 2 36 37 総合問題演習(テスト形式_基礎編) 3 38 39 総合問題演習(テスト形式_基礎編) 4 40 41 総合問題演習(テスト形式_基礎編) 5 42 43 総合問題演習(テスト形式_基礎編) 6 44 45 総合問題演習(テスト形式_基礎編) 7 46 47 総合問題演習(テスト形式_基礎編) 8 48
成績評価方法(試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	簿記 高等原価計算論	
実務家教員		
学部・学科	情報ビジネス学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	1学期、2学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	50時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	伝統的な工業簿記および原価計算の基本的な内容を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	工企業を前提とする会計処理の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 工業簿記と原価計算（入門編） 2 3 費目別計算（入門編）1 4 5 費目別計算（入門編）2 6 7 部門別計算（入門編）1 8 9 部門別計算（入門編）2 10 11 個別原価計算（入門編）1 12 13 個別原価計算（入門編）2 14 15 総合原価計算（入門編）1 16 17 総合原価計算（入門編）2 18 19 標準原価計算（入門編）1 20 21 標準原価計算（入門編）2 22 23 標準原価計算（入門編）3 24 25 標準原価計算（入門編）4 26 27 直接原価計算（入門編） 28 29 短期利益計画（入門編）1 30	31 短期利益計画（入門編）2 32 33 意思決定会計1（入門編） 34 35 意思決定会計2（入門編） 36 37 意思決定会計3（入門編） 38 39 意思決定会計4（入門編） 40 41 意思決定会計5（入門編） 42 43 意思決定会計6（入門編） 44 45 意思決定会計7（入門編） 46 47 意思決定会計8（入門編） 48 49 意思決定会計9（入門編） 50 51 意思決定会計10（入門編） 52 53 意思決定会計11（入門編） 54 55 工業簿記と原価計算まとめ1 56 57 工業簿記と原価計算まとめ2 58 59 確認テスト 60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	簿記 高等工業会計論	
実務家教員		
学部・学科	情報ビジネス学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	1学期、2学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	50時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	伝統的な工業簿記および原価計算の基礎および経営戦略の基本的な内容を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	最新の原価管理理論の基礎の習得および計算技術の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 予算管理(基礎編) 1 2 3 予算管理(基礎編) 2 4 5 予算管理(基礎編) 3 6 7 予算管理(基礎編) 4 8 9 事業部制(基礎編) 1 10 11 事業部制(基礎編) 2 12 13 事業部制(基礎編) 3 14 15 事業部制(基礎編) 4 16 17 事業部制(基礎編) 5 18 19 業務的意思決定(基礎編) 1 20 21 業務的意思決定(基礎編) 2 22 23 業務的意思決定(基礎編) 3 24 25 業務的意思決定(基礎編) 4 26 27 業務的意思決定(基礎編) 5 28 29 業務的意思決定(基礎編) 6 30	31 構造的意意思決定(基礎編) 1 32 33 構造的意意思決定(基礎編) 2 34 35 構造的意意思決定(基礎編) 3 36 37 構造的意意思決定(基礎編) 4 38 39 構造的意意思決定(基礎編) 5 40 41 構造的意意思決定(基礎編) 6 42 43 構造的意意思決定(基礎編) 7 44 45 戦略的原価計算(基礎編) 1 46 47 戦略的原価計算(基礎編) 2 48 49 戦略的原価計算(基礎編) 3 50 51 戦略的原価計算(基礎編) 4 52 53 戦略的原価計算(基礎編) 5 54 55 戦略的原価計算(基礎編) 6 56 57 戦略的原価計算(基礎編) 7 58 59 確認テスト 60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	簿記 会計学	
実務家教員		
学部・学科	情報ビジネス学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	1学期、2学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	50時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	資産負債中心観を主体とした理論体系を学び現行基準との整合性、課題を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	現行基準の理論体系の理解を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 財務諸表 (入門編) 2 3 有価証券 (入門編) 4 5 デリバティブ取引・ヘッジ会計 (入門編) 6 7 有形固定資産 (入門編) 8 9 割引現在価値 (入門編) 10 11 リース取引 (入門編) 1 12 13 リース取引 (入門編) 2 14 15 固定資産の減損 (入門編) 16 17 研究開発費とソフトウェア (入門編) 18 19 繰延資産 (入門編) 20 21 社債 (入門編) 22 23 引当金 (入門編) 1 24 25 引当金 (入門編) 2 26 27 退職給付 (入門編) 1 28 29 退職給付 (入門編) 2 30	31 資産除去債務 (入門編) 32 33 純資産 (入門編) 34 35 新株予約権と新株予約権付社債 (入門編) 36 37 スtock・オプション (入門編) 38 39 税効果会計 (入門編) 1 40 41 税効果会計 (入門編) 2 42 43 外貨建取引 (入門編) 1 44 45 外貨建取引 (入門編) 2 46 47 外貨建取引 (入門編) 3 48 49 本支店会計 (入門編) 1 50 51 本支店会計 (入門編) 2 52 53 本支店会計 (入門編) 3 54 55 商品売買等 (入門編) 1 56 57 商品売買等 (入門編) 2 58 59 確認テスト 60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	簿記 高等商業簿記論	
実務家教員		
学部・学科	情報ビジネス学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	1学期、2学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	50時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	資産負債中心観を主体とした理論体系を学び現行基準との整合性、課題を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	現行基準の理論体系の理解を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 連結財務諸表総論(入門編) 2 3 連結会計1 4 5 連結会計2 6 7 連結会計3 8 9 連結会計4 10 11 連結会計5 12 13 連結会計6 14 15 連結会計7 16 17 連結会計8 18 19 連結会計9 20 21 連結会計10 22 23 連結会計11 24 25 連結会計12 26 27 在外子会社1 28 29 在外子会社2 30	31 企業結合(入門編) 32 33 事業分離1 34 35 事業分離2 36 37 事業分離3 38 39 キャッシュフロー計算書1 40 41 キャッシュフロー計算書2 42 43 キャッシュフロー計算書3 44 45 キャッシュフロー計算書4 46 47 キャッシュフロー計算書5 48 49 連結キャッシュフロー計算書1 50 51 連結キャッシュフロー計算書2 52 53 連結キャッシュフロー計算書3 54 55 連結キャッシュフロー計算書4 56 57 連結キャッシュフロー計算書5 58 59 確認テスト 60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	簿記 1級総合	
実務家教員		
学部・学科	情報ビジネス学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	40時間	
授業コマ数	48コマ	
授業概要	会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計について、より詳細に学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	簿記1級検定合格程度の会計知識および計算技術の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 現金預金、債権の譲渡、デリバティブ取引、有価証券、リース取引 2 貸倒引当金、ヘッジ会計、減損会計、社債、退職給付会計 3 資産除去債務、セール・アンド・リースバック取引、ストック・オプション 4 自己株式、為替予約、外貨建有価証券、圧縮記帳 5 売価還元原価法、転換社債 6 電子記録債権、特別目的会社、剰余金の配当、固定資産 7 連結会計 8 キャッシュフロー計算書、企業結合 9 返品調整引当金、外貨建有価証券(減損)、ヘッジ会計 10 本支店会計総合問題(在外支店) 11 本支店会計総合問題(決算整理後合併残高試算表) 12 決算整理後残高試算表作成(会計上の変更)	25 決算整理後残高試算表作成(委託販売) 26 損益計算書作成(各種財務諸表金額算定) 27 損益計算書作成(財務諸表の注記に関する金額算定) 28 連結損益計算書、連結貸借対照表 29 包括利益 30 会計上の変更 31 総合問題対策(テスト形式の問題解説_基礎編)1 32 総合問題対策(テスト形式の問題解説_基礎編)2 33 総合問題対策(テスト形式の問題解説_基礎編)3 34 総合問題対策(テスト形式の問題解説_基礎編)4 35 総合問題対策(テスト形式の問題解説_基礎編)5 36 総合問題対策(テスト形式の問題解説_基礎編)6
成績評価方法(試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	アプリケーション基礎知識	
実務家教員		
学部・学科	情報ビジネス学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	1学期、2学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	40時間	
授業コマ数	48コマ	
授業概要	表計算ソフトの基本を理解し、ビジネスで利用される表が作成できる	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	表計算ソフトの用語・機能・関数を学ぶ	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 表作成の基本操作1 2 3 表作成の基本操作2 4 5 表作成の基本操作3 6 7 数式・関数を活用した集計表・数式 8 を入力1 9 数式・関数を活用した集計表・数式 10 を入力2 11 表の構成を変更・列幅を調整1 12 13 表の構成を変更・列幅を調整2 14 15 表を見やすく演出する・ページレイ 16 アウトを設定する1 17 表を見やすく演出する・ページレイ 18 アウトを設定する2 19 グラフの基本1 20 21 グラフの基本2 22 23 グラフの基本3 24	25 目的に応じたグラフの作成と編集1 26 27 目的に応じたグラフの作成と編集2 28 29 目的に応じたグラフの作成と編集3 30 31 相対参照と絶対参照1 32 33 相対参照と絶対参照2 34 35 最大値・最小値を求める1 36 37 最大値・最小値を求める2 38 39 端数処理・データの個数を求める1 40 41 端数処理・データの個数を求める2 42 43 条件で値を判定する・IF関数をネス 44 ト1 45 条件で値を判定する・IF関数をネス 46 ト2 47 確認テスト 48
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	OA概論基礎	
実務家教員		
学部・学科	情報ビジネス学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	1学期、2学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	40時間	
授業コマ数	48コマ	
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの基礎操作を理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 プレゼンテーションの作成1 2 3 プレゼンテーションの作成2 4 5 スライドの挿入、書式設定1 6 7 スライドの挿入、書式設定2 8 9 スライドの挿入、書式設定3 10 11 配布資料、ノートの変更1 12 13 配布資料、ノートの変更2 14 15 スライドの並び替え、グループ化 16 17 オプションの変更1 18 19 オプションの変更2 20 21 スライドショーの設定、実行 22 23 テキストの挿入、書式設定 24	25 図形・テキストボックスの挿入・書式設定1 26 27 図形・テキストボックスの挿入・書式設定2 28 29 図形・テキストボックスの挿入・書式設定3 30 31 図の挿入、書式設定1 32 33 図の挿入、書式設定2 34 35 図の挿入、書式設定3 36 37 図形の並び替え、グループ化1 38 39 図形の並び替え、グループ化2 40 41 図形の並び替え、グループ化3 42 43 実践演習1 44 45 実践演習2 46 47 確認テスト 48
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	ネットワーク基礎知識	
実務家教員	○	
学部・学科	情報ビジネス学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	40時間	
授業コマ数	48コマ	
授業概要	ネットワークのプロトコルにおけるOSI基本参照モデルの各層の役割を説明できる	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	ネットワークの種類を理解し、接続からソフトウェアでの接続サービスまで理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	担当講師は前職でシステム開発を4年間担当した実績から、基本的なシステム開発知識、現状のシステム開発に重要な点を踏まえながら講義している	
授業計画	1 ネットワークトポロジ1 2 3 ネットワークトポロジ2 4 5 ネットワーク構成の種類, 特徴1 6 7 ネットワーク構成の種類, 特徴2 8 9 OSI 基本参照モデル 物理層, データリンク層1 10 11 OSI 基本参照モデル 物理層, データリンク層2 12 13 OSI 基本参照モデル 物理層, データリンク層3 14 15 OSI 基本参照モデル ネットワーク層, トランスポート層1 16 17 OSI 基本参照モデル ネットワーク層, トランスポート層2 18 19 OSI 基本参照モデル ネットワーク層, トランスポート層3 20 21 OSI 基本参照モデル セッション層, プレゼンテーション層1 22 23 OSI 基本参照モデル セッション層, プレゼンテーション層2 24	25 OSI 基本参照モデル セッション層, プレゼンテーション層3 26 27 OSI 基本参照モデル アプリケーション層1 28 29 OSI 基本参照モデル アプリケーション層2 30 31 OSI 基本参照モデル アプリケーション層3 32 33 伝送方式と回線1 34 35 伝送方式と回線2 36 37 ネットワーク接続1 38 39 ネットワーク接続2 40 41 伝送制御, メディアアクセス制御1 42 43 伝送制御, メディアアクセス制御2 44 45 伝送制御, メディアアクセス制御3 46 47 確認テスト 48
成績評価方法(試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	OA基礎知識	
実務家教員		
学部・学科	情報ビジネス学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	2学期、3学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	40時間	
授業コマ数	48コマ	
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの基礎操作を習得する	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	MOS PowerPointレベルの操作を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 表の挿入、設定1 2 3 表の挿入、設定2 4 5 表の挿入、設定3 6 7 グラフの挿入、書式設定1 8 9 グラフの挿入、書式設定2 10 11 グラフの挿入、書式設定3 12 13 SmartArtの挿入、書式設定1 14 15 SmartArtの挿入、書式設定2 16 17 SmartArtの挿入、書式設定3 18 19 メディアの挿入、管理1 20 21 メディアの挿入、管理2 22 23 メディアの挿入、管理3 24	25 画面切り替えの設定1 26 27 画面切り替えの設定2 28 29 画面切り替えの設定3 30 31 アニメーションの設定1 32 33 アニメーションの設定2 34 35 アニメーションの設定3 36 37 複数のコンテンツの結合1 38 39 複数のコンテンツの結合2 40 41 プレゼンテーションの保護、共有1 42 43 プレゼンテーションの保護、共有2 44 45 実践演習 46 47 確認テスト 48
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容			
授業科目	オフィスExcel基礎			
実務家教員				
学部・学科	情報ビジネス学科2年制			
履修年次	1年次			
開講学期	3学期			
科目区分	選択			
授業方法	演習			
授業時間	40時間			
授業コマ数	48コマ			
授業概要	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用法を習得する			
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る			
達成目標	MOS Excelレベルの操作を習得する			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24	ワークシートやブックの作成と管理1 ワークシートやブックの作成と管理2 セルやセル範囲のデータの管理1 セルやセル範囲のデータの管理2 テーブルの作成1 テーブルの作成2 関数を使用してのデータ集計1 関数を使用してのデータ集計2 関数を使用しての条件付き計算1 関数を使用しての条件付き計算2 関数を使用しての条件付き計算3 関数を使用した文字列の整形や変更1	25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48	関数を使用した文字列の整形や変更2 関数を使用した文字列の整形や変更3 グラフの作成1 グラフの作成2 グラフの作成3 グラフの書式設定1 グラフの書式設定2 グラフの書式設定3 オブジェクトの挿入や書式設定1 オブジェクトの挿入や書式設定2 オブジェクトの挿入や書式設定3 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要(シラバス)

タイトル	内容			
授業科目	オフィスExcel活用			
実務家教員				
学部・学科	情報ビジネス学科2年制			
履修年次	1年次			
開講学期	3学期			
科目区分	選択			
授業方法	演習			
授業時間	40時間			
授業コマ数	48コマ			
授業概要	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用法を習得する			
授業の進め方	反復練習と問題演習により、確実な知識とスキルの定着を図る			
達成目標	MOS Excel合格レベルの技術を習得する			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	MOS Excel模擬演習1	25	MOS Excel模擬演習13
	2		26	
	3	MOS Excel模擬演習2	27	MOS Excel模擬演習14
	4		28	
	5	MOS Excel模擬演習3	29	MOS Excel模擬演習15
	6		30	
	7	MOS Excel模擬演習4	31	MOS Excel模擬演習16
	8		32	
	9	MOS Excel模擬演習5	33	MOS Excel模擬演習17
	10		34	
	11	MOS Excel模擬演習6	35	MOS Excel模擬演習18
	12		36	
	13	MOS Excel模擬演習7	37	MOS Excel模擬演習19
	14		38	
	15	MOS Excel模擬演習8	39	MOS Excel模擬演習20
	16		40	
	17	MOS Excel模擬演習9	41	MOS Excel模擬演習21
	18		42	
	19	MOS Excel模擬演習10	43	MOS Excel模擬演習22
	20		44	
	21	MOS Excel模擬演習11	45	MOS Excel模擬演習23
	22		46	
	23	MOS Excel模擬演習12	47	MOS Excel模擬演習24
	24		48	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況			
備考				

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	マーケティング実習	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	24コマ	
授業概要	マーケティングの必要性と目的を学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	マーケティングの知識を体系的に習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	顧客満足①
	2	
	3	マーケティングの必要性①
	4	
	5	情報収集と分析①
	6	
	7	情報収集と分析②
	8	
	9	流通チャネル①
	10	
	11	流通チャネル②
	12	
	13	プロモーション①
	14	
	15	プロモーション②
	16	
	17	財務知識①
	18	
	19	財務知識②
	20	
	21	事例研究①
	22	
	23	事例研究②
	24	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	マーケティング概論	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	24コマ	
授業概要	事例研究を通じてマーケティングを演習する	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	マーケティングの具体的な手法を理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	店舗データの理解①
	2	
	3	店舗データの理解②
	4	
	5	マーケティングの流れ
	6	
	7	売上構成分析①
	8	
	9	売上構成分析②
	10	
	11	来店客分析
	12	
	13	商品分析
	14	
	15	費用分析
	16	
	17	課題抽出
	18	
	19	企画作成①
	20	
	21	企画作成②
	22	
	23	様々なマーケティング
	24	
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	販売常識・販売技術	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	24コマ	
授業概要	販売員として必要な顧客対応に関する基礎知識、販売員としての求められる接客マインドを学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	一連の流れが理解され、実践できるようになる	
教科書	テキスト及び問題集	
特記		
授業計画	1	小売業とは何か
	2	
	3	ストアオペレーションの重要性
	4	
	5	店舗形態別小売業の基本知識
	6	
	7	ディスプレイとは
	8	
	9	小売業の種類 ビジネスマナー
	10	
	11	ストアオペレーション・接客マナー
	12	
	13	接客マナー ロールプレイング1
	14	
	15	接客マナー ロールプレイング2
	16	
	17	接客マナー ロールプレイング3
	18	
	19	接客マナー ロールプレイング4
	20	
	21	接客マナー ロールプレイング5
	22	
	23	接客マナー ロールプレイング6
	24	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	販売事務・商品知識	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	24コマ	
授業概要	小売業における在庫管理や売上管理、衛生管理などを学ぶ。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	小売業に必要な法令知識や管理方法習得	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	流通における小売業の基本
	2	
	3	組織形態別小売業の基本
	4	
	5	店舗形態別小売業の基本的役割
	6	
	7	ストアオペレーション1
	8	
	9	ストアオペレーション2
	10	
	11	ストアオペレーション3
	12	
	13	マーチャンダイジング1
	14	
	15	マーチャンダイジング2
	16	
	17	商品計画
	18	
	19	販売計画及び仕入れ計画
	20	
	21	価格設定
	22	
	23	販売管理
	24	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	経営常識	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	3学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	24コマ	
授業概要	ビジネス実務法務検定に即した講義、演習	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	基本的なビジネス法務実務の知識を身に付ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	民法・借地借家権・破産法・民事再生法・仮担保借地法1
	2	
	3	民法・借地借家権・破産法・民事再生法・仮担保借地法2
	4	
	5	民法・借地借家権・破産法・民事再生法・仮担保借地法3
	6	
	7	商法・会社法・手形法・小切手法・会社更正法1
	8	
	9	商法・会社法・手形法・小切手法・会社更正法2
	10	
	11	商法・会社法・手形法・小切手法・会社更正法3
	12	
	13	労働基準法・労働組合法・男女雇用機会均等法・労働者派遣法1
	14	
	15	労働基準法・労働組合法・男女雇用機会均等法・労働者派遣法2
	16	
	17	労働基準法・労働組合法・男女雇用機会均等法・労働者派遣法3
	18	
	19	独占禁止法・不正競争防止法・大店立地法・消費者契約法・割賦販売法・特定
	20	商取引法・個人情報保護法・特許法・著作権法・商標法・実用新案法・意匠法1
	21	独占禁止法・不正競争防止法・大店立地法・消費者契約法・割賦販売法・特定
	22	商取引法・個人情報保護法・特許法・著作権法・商標法・実用新案法・意匠法2
	23	独占禁止法・不正競争防止法・大店立地法・消費者契約法・割賦販売法・特定
	24	商取引法・個人情報保護法・特許法・著作権法・商標法・実用新案法・意匠法3
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	販売士2級総合	
実務家教員		
学部・学科	情報ビジネス学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	40時間	
授業コマ数	48コマ	
授業概要	実際の商業動態統計などの結果を踏まえたより実践的な理論知識を身につける	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	リテールマーケティング検定2級に合格できるレベルの理論知識習得	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 項目別演習1 2 3 項目別演習2 4 5 項目別演習3 6 7 項目別演習4 8 9 項目別演習5 10 11 項目別演習6 12 13 項目別演習7 14 15 項目別演習8 16 17 項目別演習9 18 19 項目別演習10 20 21 総合問題対策1 22 23 総合問題対策2 24	25 総合問題対策3 26 27 総合問題対策4 28 29 総合問題対策5 30 31 総合問題対策6 32 33 総合問題対策7 34 35 総合問題対策8 36 37 総合問題対策9 38 39 総合問題対策10 40 41 総合問題対策11 42 43 総合問題対策12 44 45 総合問題対策13 46 47 総合問題対策14 48
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	販売技術実習	
実務家教員授業	○	
学部・学科	情報ビジネス学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	24コマ	
授業概要	販売店にて販売員として必要な基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	販売店でを行う販売員の職業内容を理解する	
教科書		
特記	販売店などに勤務している従業員から、お客様対応やビジネスマナー、接客業務のポイント、注意点等を学ぶ	
授業計画	1	現場実習（販売）1
	2	
	3	現場実習（販売）2
	4	
	5	現場実習（販売）3
	6	
	7	現場実習（販売）4
	8	
	9	現場実習（販売）5
	10	
	11	現場実習（販売）6
	12	
	13	現場実習（販売）7
	14	
	15	現場実習（販売）8
	16	
	17	現場実習（販売）9
	18	
	19	現場実習（販売）10
	20	
	21	現場実習（販売）11
	22	
	23	現場実習（販売）12
	24	
成績評価方法 (試験実施方法)	販売店評価と日誌、取り組む姿勢により評価する。	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	カラーコーディネート基礎知識	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	24コマ	
授業概要	色のはたらき、色の分類と三属性といった基礎からの知識を習得する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	色彩学知識の習得	
教科書	テキスト、問題集	
特記		
授業計画	1	色のはたらき1
	2	
	3	色のはたらき2
	4	
	5	色のはたらき3
	6	
	7	色の表示(色の分類、三属性)
	8	
	9	色の表示(PCCS、言葉による色表示)
	10	
	11	光と色
	12	
	13	色彩心理
	14	
	15	色彩調和(配色の基本的な考え方)
	16	
	17	色彩調和(トーンから配色を考える)
	18	
	19	ファッション(ファッションと色彩)1
	20	
	21	ファッション(ファッションと色彩)2
	22	
	23	確認テスト
	24	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	カラーコーディネート応用	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	20時間	
授業コマ数	24コマ	
授業概要	色彩検定試験合格を目的に行う。基礎知識が付いている前提で授業が進行し、問題演習時間を通して、知識の整理を行う。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	知識の習得と色彩検定合格	
教科書	テキスト、問題集	
特記		
授業計画	1	基礎演習1
	2	
	3	基礎演習2
	4	
	5	基礎演習3
	6	
	7	基礎演習4
	8	
	9	基礎演習5
	10	
	11	基礎演習6
	12	
	13	基礎演習7
	14	
	15	基礎演習8
	16	
	17	基礎演習9
	18	
	19	基礎演習10
	20	
	21	基礎演習11
	22	
	23	基礎演習12
	24	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	カラーコーディネート3級総合	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	24コマ	
授業概要	色彩検定試験合格を目的に行う。基礎知識が付いている前提で授業が進行し、問題演習時間を通して、知識の整理を行う。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	知識の習得と色彩検定合格	
教科書	テキスト、問題集	
特記		
授業計画	1	応用演習1
	2	
	3	応用演習2
	4	
	5	応用演習3
	6	
	7	応用演習4
	8	
	9	応用演習5
	10	
	11	応用演習6
	12	
	13	応用演習7
	14	
	15	直前演習1
	16	
	17	直前演習2
	18	
	19	直前演習3
	20	
	21	直前演習4
	22	
	23	直前演習5
	24	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容		
授業科目	情報処理システム		
実務家教員			
学部・学科	情報ビジネス学科 2年制		
履修年次	1年次		
開講学期	2学期		
科目区分	選択		
授業方法	演習		
授業時間	60時間		
授業コマ数	72コマ		
授業概要	演習問題を利用して各フェーズで行われるドキュメント		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る		
教科書	テキスト及び参考書		
特記			
授業計画	1	システム開発概要1	37
	2		38
	3	システム開発概要2	39
	4		40
	5	基本設計1	41
	6		42
	7	基本設計2	43
	8		44
	9	基本設計3	45
	10		46
	11	外部設計1	47
	12		48
	13	外部設計2	49
	14		50
	15	外部設計3	51
	16		52
	17	内部設計1	53
	18		54
	19	内部設計2	55
	20		56
	21	内部設計3	57
	22		58
	23	単体テスト1	59
	24		60
	25	単体テスト2	61
	26		62
	27	単体テスト3	63
	28		64
	29	結合テスト1	65
	30		66
	31	結合テスト2	67
	32		68
	33	結合テスト3	69
	34		70

	35 36	結合テスト4	71 72
成績評価方法 (試験実施方法)	演習課題100% 演習問題の完成状況に応じて成		
備考			

演習問題14

成績評価

授業概要(シラバス)

タイトル	内容		
授業科目	情報処理概論		
実務家教員			
学部・学科	情報ビジネス学科 2年制		
履修年次	1年次		
開講学期	2学期		
科目区分	選択		
授業方法	演習		
授業時間	60時間		
授業コマ数	72コマ		
授業概要	情報処理の電算科学基礎の習得		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことができるようになる		
教科書	テキスト及び参考書		
特記			
授業計画	1	基数変換1	37
	2		38
	3	基数変換2	39
	4		40
	5	基数変換3	41
	6		42
	7	文字コード1	43
	8		44
	9	文字コード2	45
	10		46
	11	文字コード3	47
	12		48
	13	補数表現法1	49
	14		50
	15	補数表現法2	51
	16		52
	17	補数表現法3	53
	18		54
	19	固定小数点・浮動小数点1	55
	20		56
	21	固定小数点・浮動小数点2	57
	22		58
	23	固定小数点・浮動小数点3	59
	24		60
	25	誤差・桁落ち・情報落ち1	61
	26		62
	27	誤差・桁落ち・情報落ち2	63
	28		64
	29	誤差・桁落ち・情報落ち3	65
	30		66
	31	シフト演算・算術シフト・論理シフト1	67
	32		68
	33	シフト演算・算術シフト・論理シフト2	69
	34		70

	35	シフト演算・算術シフト・論理シフ	71
	36	ト3	72
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 授業毎実施の確認テストにお		
備考			

ハフマン方式・ランレングス符号化
2

出題科目解答状況

授業概要(シラバス)

タイトル	内容		
授業科目	プログラム設計		
実務家教員			
学部・学科	情報ビジネス学科 2年制		
履修年次	1年次		
開講学期	2学期、3学期		
科目区分	選択		
授業方法	演習		
授業時間	60時間		
授業コマ数	72コマ		
授業概要	プログラミング工程に必要なドキュメントの書き方及び設		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定		
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出		
教科書	テキスト及び参考書		
特記			
授業計画	1	提案書・要件定義書の書き方1	37
	2		38
	3	提案書・要件定義書の書き方2	39
	4		40
	5	外部設計書・内部設計書の書き方1	41
	6		42
	7	外部設計書・内部設計書の書き方2	43
	8		44
	9	プログラム設計書の書き方1	45
	10		46
	11	プログラム設計書の書き方2	47
	12		48
	13	テスト仕様書の書き方1	49
	14		50
	15	テスト仕様書の書き方2	51
	16		52
	17	UI工程の概要1	53
	18		54
	19	UI工程の概要2	55
	20		56
	21	UI工程のインプット情報1	57
	22		58
	23	UI工程のインプット情報2	59
	24		60
	25	UI工程のインプット情報3	61
	26		62
	27	プロセスの定義1	63
	28		64
	29	プロセスの定義2	65
	30		66
	31	プロセスの定義3	67
	32		68
	33	論理テーブル設計1	69
	34		70

	35 36	論理テーブル設計2	71 72
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 授業毎実施の確認テストにお		
備考			

設計を学び演習する
定着を図る
出来る操作力を身に付ける
論理テーブル設計3
データとプロセスの整合性検証1
データとプロセスの整合性検証2
データとプロセスの整合性検証3
データとプロセスの整合性検証4
プロセス機能設計1
プロセス機能設計2
プロセス機能設計3
メッセージ設計1
メッセージ設計2
メッセージ設計3
共通化対象の抽出1
共通化対象の抽出2
SS工程の概要1
SS工程の概要2
SS工程の概要3
プログラム機能定義1

プログラム機能定義2

ける科目解答状況

授業概要(シラバス)

タイトル	内容		
授業科目	アセンブラ言語		
実務家教員			
学部・学科	情報ビジネス学科 2年制		
履修年次	1年次		
開講学期	3学期		
科目区分	選択		
授業方法	演習		
授業時間	60時間		
授業コマ数	72コマ		
授業概要	アセンブラ言語 (CASL II) の基本命令及び基本の コンピュータ内部で行われている動きが理解できる		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことができる		
教科書	テキスト及び参考書		
特記			
授業計画	1	CASL IIプログラムの基本構成	37
	2	プログラムの基本ルール	38
	3	ロードストア命令1	39
	4		40
	5	ロードストア命令2	41
	6		42
	7	演算命令1	43
	8		44
	9	演算命令2	45
	10		46
	11	比較演算命令1	47
	12		48
	13	比較演算命令2	49
	14		50
	15	分岐命令	51
	16		52
	17	分岐命令1	53
	18		54
	19	分岐命令2	55
	20		56
	21	シフト演算命令1	57
	22		58
	23	シフト演算命令2	59
	24		60
	25	スタック操作命令1	61
	26		62
	27	スタック操作命令2	63
	28		64
	29	スタック操作命令3	65
	30		66
	31	コールリターン命令1	67
	32		68
	33	コールリターン命令2	69

	34	カーソル移動コマンド	70
	35	カーソルリターン命令3	71
	36		72
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 授業毎実施の確認テストにお		
備考			

的なアルゴリズムを学び、コン
定着を図る
出来る操作力を身に付ける
SVC命令・NOP命令1
SVC命令・NOP命令2
SVC命令・NOP命令3
マクロ命令1
マクロ命令2
マクロ命令3
アセンブラ命令1
アセンブラ命令2
アセンブラ命令3
ビット操作のプログラム1
ビット操作のプログラム2
検索プログラム1
検索プログラム2
文字列操作プログラム1
文字列操作プログラム2
並べ替えのプログラム1
並べ替えのプログラム2

並べ替えのプログラム3

並べ替えのプログラム3

並べ替えのプログラム3

並べ替えのプログラム3

授業概要(シラバス)

タイトル	内容		
授業科目	コンピュータ運用知識		
実務家教員			
学部・学科	情報ビジネス学科 2年制		
履修年次	1年次		
開講学期	3学期		
科目区分	選択		
授業方法	演習		
授業時間	50時間		
授業コマ数	60コマ		
授業概要	コンピュータシステムやアーキテクチャについてミドルウェア等それぞれに関するアーキテクチャ割について学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことができるようになる		
教科書	テキスト及び参考書		
特記			
授業計画	1	コンピュータアーキテクチャの基本	31
	2	1	32
	3	コンピュータアーキテクチャの基本	33
	4	2	34
	5	コンピュータハードウェアの基本1	35
	6		36
	7	コンピュータハードウェアの基本2	37
	8		38
	9	CPUアーキテクチャの基本1	39
	10		40
	11	CPUアーキテクチャの基本2	41
	12		42
	13	ディスクと周辺機器の基本1	43
	14		44
	15	ディスクと周辺機器の基本2	45
	16		46
	17	インタフェース技術の基本1	47
	18		48
	19	インタフェース技術の基本2	49
	20		50
	21	ソフトウェアアーキテクチャ1	51
	22		52
	23	ソフトウェアアーキテクチャ2	53
	24		54
	25	OSのアーキテクチャ1	55
	26		56
	27	OSのアーキテクチャ2	57
	28		58
	29	ミドルウェアの種類と特徴1	59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況		

備考	
----	--



授業概要(シラバス)

タイトル	内容		
授業科目	ソフトウェア		
実務家教員			
学部・学科	経理ビジネス学科 2年制		
履修年次	1年次		
開講学期	3学期		
科目区分	選択		
授業方法	演習		
授業時間	50時間		
授業コマ数	60コマ		
授業概要	ソフトウェア、オペレーティングシステム、セ		
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習		
達成目標	実際にコンピュータを利用し、OSやアプリケーションパ		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	ソフトウェアの基礎1	31
	2		32
	3	ソフトウェアの基礎2	33
	4		34
	5	ソフトウェアの基礎3	35
	6		36
	7	ソフトウェアの重要性1	37
	8		38
	9	ソフトウェアの重要性2	39
	10		40
	11	ソフトウェアの重要性3	41
	12		42
	13	ソフトウェアの分類1	43
	14		44
	15	ソフトウェアの分類2	45
	16		46
	17	ソフトウェアの分類3	47
	18		48
	19	コンピュータシステムの処理形態1	49
	20		50
	21	コンピュータシステムの処理形態2	51
	22		52
	23	コンピュータシステムの処理形態3	53
	24		54
	25	オペレーティングシステムの目的1	55
	26		56
	27	オペレーティングシステムの目的2	57
	28		58
	29	オペレーティングシステムの目的3	59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況		

備考	
----	--

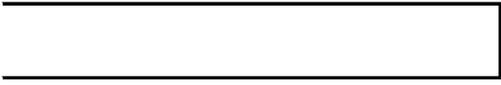
セキュリティに関する知識と技術の習得
アプリケーションパッケージのインストール パッケージの基本的な操作を学ぶ
OSの概要1
OSの概要2
OSの概要3
OSの機能1
OSの機能2
OSの機能3
ソフトウェアの管理1
ソフトウェアの管理2
ソフトウェアの管理3
ジョブ管理1
ジョブ管理2
ジョブ管理3
タスク管理1
タスク管理2
タスク管理3
↓



授業概要(シラバス)

タイトル	内容		
授業科目	ハードウェア		
実務家教員			
学部・学科	経理ビジネス学科 2年制		
履修年次	1年次		
開講学期	3学期		
科目区分	選択		
授業方法	演習		
授業時間	50時間		
授業コマ数	60コマ		
授業概要	PCの表現方法、記憶装置等の基礎的知識を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習		
達成目標	一般的なPCハードスキルを学ぶ		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	データの表現1	31
	2		32
	3	データの表現2	33
	4		34
	5	電子素子とデジタル回路1	35
	6		36
	7	電子素子とデジタル回路2	37
	8		38
	9	論理式の簡単化1	39
	10		40
	11	論理式の簡単化2	41
	12		42
	13	組合せ回路1	43
	14		44
	15	組合せ回路2	45
	16		46
	17	演算回路1	47
	18		48
	19	演算回路2	49
	20		50
	21	演算回路3	51
	22		52
	23	順序回路1	53
	24		54
	25	順序回路2	55
	26		56
	27	順序回路3	57
	28		58
	29	コンピュータを用いた論理回路の設	59
	30	計1	60
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況		

備考	
----	--



授業概要(シラバス)

タイトル	内容		
授業科目	文書実務技能		
実務家教員			
学部・学科	情報ビジネス学科 2年制		
履修年次	1年次		
開講学期	3学期		
科目区分	選択		
授業方法	演習		
授業時間	50時間		
授業コマ数	60コマ		
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解する		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことができる		
教科書	テキスト及び参考書		
特記			
授業計画	1	文章の作成①	31
	2		32
	3	文章の作成②	33
	4		34
	5	文章内の移動①	35
	6		36
	7	文章内の移動②	37
	8		38
	9	文章の書式設定①	39
	10		40
	11	文章の書式設定②	41
	12		42
	13	オプションの設定、表示のカスタマイズ①	43
	14		44
	15	オプションの設定、表示のカスタマイズ②	45
	16		46
	17	文章の印刷、保存①	47
	18		48
	19	文章の印刷、保存②	49
	20		50
	21	文章の印刷、保存③	51
	22		52
	23	文字列・段落の挿入①	53
	24		54
	25	文字列・段落の挿入②	55
	26		56
	27	文字列・段落の挿入③	57
	28		58
	29	文字列・段落の挿入④	59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		

備考	
----	--



授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	総合演習 (ワープロ理論・実習)	
実務家教員		
学部・学科	情報ビジネス学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講学期	3学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	40時間	
授業コマ数	48コマ	
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの応用的な操作を習得	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義	
達成目標	MOS Wordレベルの操作を習得する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 表の作成 2 3 表の変更1 4 5 表の変更2 6 7 表の変更3 8 9 リストの作成、変更1 10 11 リストの作成、変更2 12 13 リストの作成、変更3 14 15 参照のための情報・記号の作成、管 16 理1 17 参照のための情報・記号の作成、管 18 理2 19 標準の参考資料作成、管理1 20 21 標準の参考資料作成、管理2 22 23 標準の参考資料作成、管理3 24	25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
備考		

する
を行い、より高度な知識定着を図る
グラフィック要素の挿入1
グラフィック要素の挿入2
グラフィック要素の挿入3
グラフィック要素の書式設定1
グラフィック要素の書式設定2
グラフィック要素の書式設定3
SmartArtの挿入、書式設定1
SmartArtの挿入、書式設定2
SmartArtの挿入、書式設定3
模擬試験1
模擬試験2
模擬試験3

授業概要(シラバス)

タイトル	内容				
授業科目	英語				
実務家教員授業					
学部・学科	情報ビジネス学科 2年制				
履修年次	2年次				
開講学期	通年				
科目区分	選択				
授業方法	講義				
授業時間	120時間				
授業コマ数	144コマ				
授業概要	基本的な日常会話、英単語を習得				
授業の進め方	講義並びに反復練習と効果測定				
達成目標	場面別の簡単な英会話を習得する				
教科書	テキスト及び参考書				
特記					
授業計画	1	基本的な英単語1	49	基本の英会話5	97
	2		50		98
	3	基本的な英単語2	51	基本の英会話6	99
	4		52		100
	5	基本的な英単語3	53	基本の英会話7	101
	6		54		102
	7	基本的な英単語4	55	基本の英会話8	103
	8		56		104
	9	基本的な英単語5	57	基本の英会話9	105
	10		58		106
	11	基本的な英単語6	59	基本の英会話10	107
	12		60		108
	13	基本的な英単語7	61	覚えて便利な日常会話フレーズ1	109
	14		62		110
	15	基本的な英単語8	63	覚えて便利な日常会話フレーズ2	111
	16		64		112
	17	基本的な英単語9	65	覚えて便利な日常会話フレーズ3	113
	18		66		114
	19	基本的な英単語10	67	覚えて便利な日常会話フレーズ4	115
	20		68		116
	21	熟語1	69	覚えて便利な日常会話フレーズ5	117
	22		70		118
	23	熟語2	71	覚えて便利な日常会話フレーズ6	119
	24		72		120
	25	熟語3	73	覚えて便利な日常会話フレーズ7	121
	26		74		122
	27	熟語4	75	覚えて便利な日常会話フレーズ8	123
	28		76		124

29	熟語5	77	覚えて便利な日常会話フレーズ9	125
30		78		126
31	熟語6	79	覚えて便利な日常会話フレーズ10	127
32		80		128
33	熟語7	81	場面別英会話1	129
34		82		130
35	熟語8	83	場面別英会話2	131
36		84		132
37	熟語9	85	場面別英会話3	133
38		86		134
39	熟語10	87	場面別英会話4	135
40		88		136
41	基本の英会話1	89	場面別英会話5	137
42		90		138
43	基本の英会話2	91	場面別英会話6	139
44		92		140
45	基本の英会話3	93	場面別英会話7	141
46		94		142
47	基本の英会話4	95	場面別英会話8	143
48		96		144
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 授業毎実施の確認テストにおける科目解答状況			
備考				

日常会話応用8

日常会話応用9

日常会話応用10

日常会話応用11

日常会話応用12

日常会話応用13

日常会話応用14

日常会話応用15

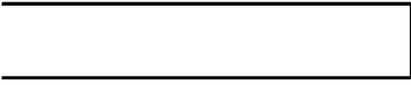
日常会話応用16

日常会話応用17

授業概要(シラバス)

タイトル	内容				
授業科目	体育				
実務家教員授業	○				
学部・学科	情報ビジネス学科 2年制				
履修年次	2年次				
開講学期	3学期				
科目区分	選択				
授業方法	講義				
授業時間	60時間				
授業コマ数	72コマ				
授業概要	スキースノーボード実習				
授業の進め方	インストラクターからレクチャーを受ける				
達成目標	一定の滑りができるようになる				
教科書	オリジナルテキスト				
特記	担当講師はスキーインストラクターの資格を持つ講師であり、基本的な点から至るまで講義している				
授業計画	1	実習1	25	実習13	49
	2		26		50
	3	実習2	27	実習14	51
	4		28		52
	5	実習3	29	実習15	53
	6		30		54
	7	実習4	31	実習16	55
	8		32		56
	9	実習5	33	実習17	57
	10		34		58
	11	実習6	35	実習18	59
	12		36		60
	13	実習7	37	実習19	61
	14		38		62
	15	実習8	39	実習20	63
	16		40		64
	17	実習9	41	実習21	65
	18		42		66
	19	実習10	43	実習22	67
	20		44		68
	21	実習11	45	実習23	69
	22		46		70
	23	実習12	47	実習24	71
	24		48		72
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験100% 実技試験における科目解答状況				

備考	
----	--



授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	一般教養	
実務家教員	○	
学部・学科	情報ビジネス学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	1学期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	40時間	
授業コマ数	48コマ	
授業概要	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	一般教養として社会で求められる漢字能力を身に付けることを目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	担当講師は前職で3年間の塾講師の経験を踏まえ、日本語能力の向上を主体としたビジネス分野で使用される漢字についてその成り立ちと意味を伝えながら講義している。	
授業計画	1 訓読み・送り仮名1 2 3 訓読み・送り仮名2 4 5 訓読み・送り仮名3 6 7 熟語1 8 9 熟語2 10 11 熟語3 12 13 異字同訓・同音異義1 14 15 異字同訓・同音異義2 16 17 異字同訓・同音異義3 18 19 誤字訂正1 20 21 誤字訂正2 22 23 誤字訂正3 24	25 慣用句1 26 27 慣用句2 28 29 慣用句3 30 31 項目別模擬試験1 32 33 項目別模擬試験2 34 35 項目別模擬試験3 36 37 項目別模擬試験4 38 39 項目別模擬試験5 40 41 直前模擬試験1 42 43 直前模擬試験2 44 45 直前模擬試験3 46 47 直前模擬試験4 48
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容			
授業科目	ビジネス教養			
実務家教員授業				
学部・学科	情報ビジネス学科2年制			
履修年次	2年次			
開講学期	1学期			
科目区分	必修			
授業方法	講義			
授業時間	40時間			
授業コマ数	48コマ			
授業概要	人文科学、社会科学、自然科学に関する一般教養をバランスよく身に付ける。			
授業の進め方	主要5科目の基礎講義を行い、問題演習により知識向上を図る			
達成目標	模擬試験合格			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	非言語演習1	25	言語演習2
	2		26	
	3	非言語演習2	27	言語演習3
	4		28	
	5	非言語演習3	29	言語演習4
	6		30	
	7	非言語演習4	31	言語演習5
	8		32	
	9	非言語演習5	33	言語演習6
	10		34	
	11	非言語演習6	35	言語演習7
	12		36	
	13	非言語演習7	37	言語演習8
	14		38	
	15	非言語演習8	39	言語演習9
	16		40	
	17	非言語演習9	41	言語演習10
	18		42	
	19	非言語演習10	43	言語演習11
	20		44	
	21	非言語演習11	45	模擬試験1 (非言語)
	22		46	
	23	言語演習1	47	模擬試験2 (言語)
	24		48	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況			
備考				

授業概要(シラバス)

タイトル	内容		
授業科目	一般教養基礎知識		
実務家教員授業	○		
学部・学科	情報ビジネス学科2年制		
履修年次	2年次		
開講学期	1学期		
科目区分	必修		
授業方法	講義		
授業時間	40時間		
授業コマ数	48コマ		
授業概要	就職活動の筆記試験で問われる、基礎的な教養を学ぶ		
授業の進め方	中学、高校程度の主要5科目の内、非言語、言語中心に講義、演習を行う		
達成目標	非言語、言語力の向上		
教科書	オリジナルテキスト		
特記	担当講師は前職で3年間の塾講師の経験を踏まえ、主要5教科の基本的な理解と塾講師の経験からスムーズな解法や暗記方法を中心に講義している		
授業計画	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24	25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48	国語1 数学3 国語2 数学4 国語3 数学5 国語4 英語1 国語5 英語2 社会1 英語3 社会2 英語4 社会3 英語5 社会4 模擬試験1 社会5 模擬試験2 数学1 模擬試験3 数学2 模擬試験4
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況		
備考			

授業概要(シラバス)

タイトル	内容							
授業科目	計算実務							
実務家教員授業								
学部・学科	情報ビジネス学科 2年制							
履修年次	2年次							
開講学期	通年							
科目区分	選択							
授業方法	演習							
授業時間	160時間							
授業コマ数	192コマ							
授業概要	電卓に関する基礎知識の習得と、使用法を学び、技術向上に努める							
授業の進め方	電卓の機能について学び、得た知識を演習を通して実践する							
達成目標	電卓検定の合格							
教科書	オリジナルテキスト、問題集							
特記								
授業計画	1	電卓検定対策1	49	電卓検定対策25	97	電卓検定対策49	145	電卓検定対策73
	2		50		98		146	
	3	電卓検定対策2	51	電卓検定対策26	99	電卓検定対策50	147	電卓検定対策74
	4		52		100		148	
	5	電卓検定対策3	53	電卓検定対策27	101	電卓検定対策51	149	電卓検定対策75
	6		54		102		150	
	7	電卓検定対策4	55	電卓検定対策28	103	電卓検定対策52	151	電卓検定対策76
	8		56		104		152	
	9	電卓検定対策5	57	電卓検定対策29	105	電卓検定対策53	153	電卓検定対策77
	10		58		106		154	
	11	電卓検定対策6	59	電卓検定対策30	107	電卓検定対策54	155	電卓検定対策78
	12		60		108		156	
	13	電卓検定対策7	61	電卓検定対策31	109	電卓検定対策55	157	電卓検定対策79
	14		62		110		158	
	15	電卓検定対策8	63	電卓検定対策32	111	電卓検定対策56	159	電卓検定対策80
	16		64		112		160	
	17	電卓検定対策9	65	電卓検定対策33	113	電卓検定対策57	161	電卓検定対策81
	18		66		114		162	
	19	電卓検定対策10	67	電卓検定対策34	115	電卓検定対策58	163	電卓検定対策82
	20		68		116		164	
	21	電卓検定対策11	69	電卓検定対策35	117	電卓検定対策59	165	電卓検定対策83
	22		70		118		166	
	23	電卓検定対策12	71	電卓検定対策36	119	電卓検定対策60	167	電卓検定対策84
	24		72		120		168	
	25	電卓検定対策13	73	電卓検定対策37	121	電卓検定対策61	169	電卓検定対策85
	26		74		122		170	
	27	電卓検定対策14	75	電卓検定対策38	123	電卓検定対策62	171	電卓検定対策86
	28		76		124		172	
	29	電卓検定対策15	77	電卓検定対策39	125	電卓検定対策63	173	電卓検定対策87
	30		78		126		174	
	31	電卓検定対策16	79	電卓検定対策40	127	電卓検定対策64	175	電卓検定対策88
	32		80		128		176	
	33	電卓検定対策17	81	電卓検定対策41	129	電卓検定対策65	177	電卓検定対策89
	34		82		130		178	
	35	電卓検定対策18	83	電卓検定対策42	131	電卓検定対策66	179	電卓検定対策90
	36		84		132		180	
	37	電卓検定対策19	85	電卓検定対策43	133	電卓検定対策67	181	電卓検定対策91
	38		86		134		182	
	39	電卓検定対策20	87	電卓検定対策44	135	電卓検定対策68	183	電卓検定対策92
	40		88		136		184	
	41	電卓検定対策21	89	電卓検定対策45	137	電卓検定対策69	185	電卓検定対策93
	42		90		138		186	
	43	電卓検定対策22	91	電卓検定対策46	139	電卓検定対策70	187	電卓検定対策94
	44		92		140		188	
	45	電卓検定対策23	93	電卓検定対策47	141	電卓検定対策71	189	電卓検定対策95
	46		94		142		190	
	47	電卓検定対策24	95	電卓検定対策48	143	電卓検定対策72	191	電卓検定対策96
	48		96		144		192	
成績評価方法 (試験実施方法)	日々の授業への取り組み姿勢、電卓検定対策での得点集計結果、電卓検定試験での結果を総合的に見て評価							
備考								

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	面接試験対策Ⅱ	
実務家教員授業	○	
学部・学科	情報ビジネス学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	1学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	40時間	
授業コマ数	48コマ	
授業概要	就職面接試験に向けた対策	
授業の進め方	講義並びに実践演習	
達成目標	面接試験合格	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	担当講師は前職で3年間経営及び採用に携わった実績を活かし、採用に値する人物像から企業の選び方、自身の思いの伝え方を採用目線で講義している	
授業計画	1 働くとは 2 3 業界研究1 4 5 業界研究2 6 7 業界研究3 8 9 業界研究4 10 11 企業研究1 12 13 企業研究2 14 15 企業研究3 16 17 企業研究4 18 19 企業研究5 20 21 志望動機1 22 23 志望動機2 24	25 志望動機3 26 27 志望動機4 28 29 志望動機5 30 31 面接練習1 32 33 面接練習2 34 35 面接練習3 36 37 面接練習4 38 39 面接練習5 40 41 面接練習6 42 43 面接練習7 44 45 面接練習8 46 47 面接練習9 48
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、面接の完成度	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容					
授業科目	ビジネスマナー					
実務家教員授業	○					
学部・学科	情報ビジネス学科2年制					
履修年次	2年次					
開講学期	2学期、3学期					
科目区分	選択					
授業方法	演習					
授業時間	160時間					
授業コマ数	192コマ					
授業概要	電話対応、接客、接遇などの基本ルールを学ぶ。					
授業の進め方	講義と実践を繰り返し行い身に付ける					
達成目標	社会人としてのマナーを身に付け実践できる					
教科書	オリジナルテキスト					
特記	担当講師は10年間の採用担当及び新入社員研修に携わった経験を活かし、就職した際に即戦力となる知識技能を実践的に講義している					
授業計画	1	マナーの必要性	49	接遇マナー基礎2	97	総合マナー応用1
	2		50		98	
	3	学校と職場の違い	51	接遇マナー実践演習1	99	総合マナー応用2
	4		52		100	
	5	職場のマナー	53	接遇マナー実践演習2	101	総合マナー応用3
	6		54		102	
	7	仕事の進め方	55	接遇マナー実践演習3	103	総合マナー応用4
	8		56		104	
	9	「ほう・れん・そう」とは	57	接遇マナー実践演習4	105	総合マナー応用5
	10		58		106	
	11	挨拶の種類	59	接遇マナー実践演習5	107	総合マナー応用実践演習1
	12		60		108	
	13	笑顔・お辞儀	61	接遇マナー実践演習6	109	総合マナー応用実践演習2
	14		62		110	
	15	正しい敬語の使い方	63	接遇マナー実践演習7	111	総合マナー応用実践演習3
	16		64		112	
	17	対応の基本	65	効果測定2	113	総合マナー応用実践演習4
	18		66		114	
	19	電話対応のマナー	67	電話対応応用編1	115	総合マナー応用実践演習5
	20		68		116	
	21	電話の受け方	69	電話対応応用編2	117	総合マナー応用実践演習6
	22		70		118	
	23	電話のかけ方	71	電話対応応用編3	119	総合マナー応用実践演習7
	24		72		120	
	25	電話対応実技1	73	電話対応応用編4	121	総合マナー応用実践演習8
	26		74		122	
	27	電話対応実技2	75	電話対応応用編5	123	総合マナー応用実践演習9
	28		76		124	
	29	電話対応実技3	77	電話対応応用編6	125	総合マナー応用実践演習10
	30		78		126	
	31	電話対応実技4	79	電話対応実技応用1	127	総合マナー応用実践演習11
	32		80		128	
	33	電話対応実技5	81	電話対応実技応用2	129	総合マナー応用実践演習12
	34		82		130	
	35	電話対応実技6	83	電話対応実技応用3	131	総合マナー応用実践演習13
	36		84		132	
	37	電話対応実技7	85	電話対応実技応用4	133	総合マナー応用実践演習14
	38		86		134	
	39	電話対応実技8	87	電話対応実技応用5	135	総合マナー応用実践演習15
	40		88		136	
	41	電話対応実技9	89	電話対応実技応用6	137	総合マナー応用実践演習16
	42		90		138	
	43	電話対応実技10	91	電話対応実技応用7	139	総合マナー応用実践演習17
	44		92		140	
	45	効果測定1	93	電話対応実技応用8	141	総合マナー応用実践演習18
	46		94		142	
	47	接遇マナー基礎1	95	効果測定3	143	効果測定4
	48		96		144	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定					
備考						

授業概要(シラバス)

タイトル	内容					
授業科目	ビジネス実務					
実務家教員授業						
学部・学科	情報ビジネス学科 2年制					
履修年次	2年次					
開講学期	2学期、3学期					
科目区分	選択					
授業方法	演習					
授業時間	160時間					
授業コマ数	192コマ					
授業概要	世の中の身近な問題に触れ、研究することで、自分なりの物事の捉え方、これから先起こることを予測し、自身の日常生活、キャリアに活かす知識、分析力を身に付ける。					
授業の進め方	事前にテーマに沿った研究を行い、レポートにまとめ発表する					
達成目標	各課題の内容理解と思考力の向上					
教科書	オリジナルテキスト					
特記						
授業計画	1	時事用語知識1	49	時事用語知識25	97	時事用語知識49
	2		50		98	
	3	時事用語知識2	51	時事用語知識26	99	時事用語知識50
	4		52		100	
	5	時事用語知識3	53	時事用語知識27	101	時事個人研究1
	6		54		102	
	7	時事用語知識4	55	時事用語知識28	103	時事個人研究2
	8		56		104	
	9	時事用語知識5	57	時事用語知識29	105	時事個人研究3
	10		58		106	
	11	時事用語知識6	59	時事用語知識30	107	時事個人研究4
	12		60		108	
	13	時事用語知識7	61	時事用語知識31	109	時事個人研究5
	14		62		110	
	15	時事用語知識8	63	時事用語知識32	111	時事個人研究6
	16		64		112	
	17	時事用語知識9	65	時事用語知識33	113	時事個人研究7
	18		66		114	
	19	時事用語知識10	67	時事用語知識34	115	時事個人研究8
	20		68		116	
	21	時事用語知識11	69	時事用語知識35	117	時事個人研究9
	22		70		118	
	23	時事用語知識12	71	時事用語知識36	119	時事個人研究10
	24		72		120	
	25	時事用語知識13	73	時事用語知識37	121	時事個人研究11
	26		74		122	
	27	時事用語知識14	75	時事用語知識38	123	時事個人研究12
	28		76		124	
	29	時事用語知識15	77	時事用語知識39	125	時事個人研究13
	30		78		126	
	31	時事用語知識16	79	時事用語知識40	127	時事個人研究14
	32		80		128	
	33	時事用語知識17	81	時事用語知識41	129	時事個人研究15
	34		82		130	
	35	時事用語知識18	83	時事用語知識42	131	時事個人研究16
	36		84		132	
	37	時事用語知識19	85	時事用語知識43	133	時事個人研究17
	38		86		134	
	39	時事用語知識20	87	時事用語知識44	135	時事個人研究18
	40		88		136	
	41	時事用語知識21	89	時事用語知識45	137	時事個人研究19
	42		90		138	
	43	時事用語知識22	91	時事用語知識46	139	時事個人研究20
	44		92		140	
	45	時事用語知識23	93	時事用語知識47	141	時事個人研究21
	46		94		142	
	47	時事用語知識24	95	時事用語知識48	143	時事個人研究22
	48		96		144	
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度					
備考						

授業概要(シラバス)

タイトル	内容					
授業科目	金融概論					
実務家教員授業						
学部・学科	情報ビジネス学科 2年制					
履修年次	2年次					
開講学期	1学期					
科目区分	選択					
授業方法	講義					
授業時間	60時間					
授業コマ数	72コマ					
授業概要	ファイナンシャルプランニングの関連法規、ライフプランニング策定や資金計画について学んでいく。					
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る					
達成目標	ファイナンシャルプランニング合格レベル					
教科書	オリジナルテキスト					
特記						
授業計画	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24	マーケット環境の理解1 マーケット環境の理解2 マーケット環境の理解3 預貯金等1 預貯金等2 預貯金等3 債券1 債券2 債券3 株式1 株式2 株式3	25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48	投資信託1 投資信託2 投資信託3 外貨建て商品1 外貨建て商品2 外貨建て商品3 外貨建て商品4 外貨建て商品5 金融派生商品1 金融派生商品2 金融派生商品3 金融派生商品4	49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72	金融派生商品5 項目別模擬試験1 項目別模擬試験2 項目別模擬試験3 項目別模擬試験4 項目別模擬試験5 項目別模擬試験6 項目別模擬試験7 項目別模擬試験8 項目別模擬試験9 項目別模擬試験10 項目別模擬試験11
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況					
備考						

授業概要(シラバス)

タイトル	内容					
授業科目	金融構造論					
実務家教員授業						
学部・学科	情報ビジネス学科 2年制					
履修年次	2年次					
開講学期	2学期					
科目区分	選択					
授業方法	講義					
授業時間	60時間					
授業コマ数	72コマ					
授業概要	ファイナンシャルプランニングの関連法規、ライフプランニング策定や資金計画について学んでいく。					
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る					
達成目標	ファイナンシャルプランニング合格レベル					
教科書	オリジナルテキスト					
特記						
授業計画	1	ポートフォリオ理論1	25	関連法規1	49	不動産についての確認5
	2		26		50	
	3	ポートフォリオ理論2	27	関連法規2	51	相続・事業継承についての確認
	4		28		52	
	5	ポートフォリオ理論3	29	関連法規3	53	相続・事業継承についての確認
	6		30		54	
	7	ポートフォリオ理論4	31	関連法規4	55	相続・事業継承についての確認
	8		32		56	
	9	金融商品と税金1	33	関連法規5	57	項目別模擬試験1
	10		34		58	
	11	金融商品と税金2	35	関連法規6	59	項目別模擬試験2
	12		36		60	
	13	金融商品と税金3	37	関連法規7	61	項目別模擬試験3
	14		38		62	
	15	セーフティネット1	39	関連法規8	63	項目別模擬試験4
	16		40		64	
	17	セーフティネット2	41	不動産についての確認1	65	項目別模擬試験5
	18		42		66	
	19	セーフティネット3	43	不動産についての確認2	67	項目別模擬試験6
	20		44		68	
	21	セーフティネット4	45	不動産についての確認3	69	項目別模擬試験7
	22		46		70	
	23	セーフティネット5	47	不動産についての確認4	71	項目別模擬試験8
	24		48		72	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況					
備考						

授業概要(シラバス)

タイトル	内容					
授業科目	金融市場論					
実務家教員授業						
学部・学科	情報ビジネス学科 2年制					
履修年次	2年次					
開講学期	2学期					
科目区分	選択					
授業方法	講義					
授業時間	60時間					
授業コマ数	72コマ					
授業概要	ファイナンシャルプランニングの関連法規、ライフプランニング策定や資金計画について学んでいく。					
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る					
達成目標	ファイナンシャルプランニング合格レベル					
教科書	オリジナルテキスト					
特記						
授業計画	1	リスクマネジメント1	25	生命保険商品の種類と内容3	49	個人の契約に関する税金3
	2		26		50	
	3	リスクマネジメント2	27	生命保険商品の種類と内容4	51	法人の契約に関する税金1
	4		28		52	
	5	リスクマネジメント3	29	生命保険商品の種類と内容5	53	法人の契約に関する税金2
	6		30		54	
	7	保険制度全般1	31	損害保険の概略1	55	法人の契約に関する税金3
	8		32		56	
	9	保険制度全般2	33	損害保険の概略2	57	第三分野の保険・共済1
	10		34		58	
	11	保険制度全般3	35	損害保険商品の種類と内容1	59	第三分野の保険・共済2
	12		36		60	
	13	保険制度全般4	37	損害保険商品の種類と内容2	61	項目別模擬試験1
	14		38		62	
	15	保険制度全般5	39	損害保険商品の種類と内容3	63	項目別模擬試験2
	16		40		64	
	17	生命保険の概略1	41	損害保険商品の種類と内容4	65	項目別模擬試験3
	18		42		66	
	19	生命保険の概略2	43	損害保険商品の種類と内容5	67	項目別模擬試験4
	20		44		68	
	21	生命保険商品の種類と内容1	45	個人の契約に関する税金1	69	項目別模擬試験5
	22		46		70	
	23	生命保険商品の種類と内容2	47	個人の契約に関する税金2	71	項目別模擬試験6
	24		48		72	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況					
備考						

授業概要(シラバス)

タイトル	内容					
授業科目	金融アドバイザー					
実務家教員授業						
学部・学科	情報ビジネス学科 2年制					
履修年次	2年次					
開講学期	2学期					
科目区分	選択					
授業方法	講義					
授業時間	60時間					
授業コマ数	72コマ					
授業概要	ファイナンシャルプランニングの関連法規、ライフプランニング策定や資金計画について学んでいく。					
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る					
達成目標	ファイナンシャルプランニング合格レベル					
教科書	オリジナルテキスト					
特記						
授業計画	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24	FPとライフプランニング1 FPとライフプランニング2 FPとライフプランニング3 教育・住宅取得資金計画1 教育・住宅取得資金計画2 教育・住宅取得資金計画3 教育・住宅取得資金計画4 教育・住宅取得資金計画5 社会保険1 社会保険2 公的年金制度の概要1 公的年金制度の概要2	25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48	老後の生活資金設計と公的年金1 老後の生活資金設計と公的年金2 老後の生活資金設計と公的年金3 老後の生活資金設計と公的年金4 老後の生活資金設計と公的年金5 公的年金における障害給付1 公的年金における障害給付2 公的年金における遺族給付1 公的年金における遺族給付2 企業年金・自営業者のための年金1 企業年金・自営業者のための年金2 企業年金・自営業者のための年金3	49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72	企業年金・自営業者のための年金4 企業年金・自営業者のための年金5 ライフプランニングの考え方1 ライフプランニングの考え方2 項目別模擬試験1 項目別模擬試験2 項目別模擬試験3 項目別模擬試験4 項目別模擬試験5 項目別模擬試験6 項目別模擬試験7 項目別模擬試験8
成績評価方法(試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況					
備考						

授業概要(シラバス)

タイトル	内容					
授業科目	オフィス基礎					
実務家教員授業						
学部・学科	情報ビジネス学科 2年制					
履修年次	2年次					
開講学期	2学期					
科目区分	選択					
授業方法	講義					
授業時間	80時間					
授業コマ数	96コマ					
授業概要	Excel及びWordの基礎操作並びに関数の効果的な使用法を習得する					
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る					
達成目標	MOS Excel及びWordレベルの操作を習得する					
教科書	テキスト及び問題集					
特記						
授業計画	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32	Excel基礎演習1 Excel基礎演習2 Excel基礎演習3 Excel基礎演習4 Excel基礎演習5 Excel基礎演習6 Excel基礎演習7 Excel基礎演習8 Excel基礎演習9 Excel基礎演習10 Excel基礎演習11 Excel基礎演習12 Excel基礎演習13 Excel基礎演習14 Excel基礎演習15 Excel基礎演習16	33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64	Excel基礎演習17 Excel基礎演習18 Excel基礎演習19 Excel基礎演習20 Excel基礎演習21 Excel基礎演習22 Excel基礎演習23 Excel基礎演習24 Excel基礎演習25 Word基礎演習1 Word基礎演習2 Word基礎演習3 Word基礎演習4 Word基礎演習5 Word基礎演習6 Word基礎演習7	65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96	Word基礎演習8 Word基礎演習9 Word基礎演習10 Word基礎演習11 Word基礎演習12 Word基礎演習13 Word基礎演習14 Word基礎演習15 Word基礎演習16 Word基礎演習17 Word基礎演習18 Word基礎演習19 Word基礎演習20 Word基礎演習21 Word基礎演習22 Word基礎演習23
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況					
備考						

授業概要(シラバス)

タイトル	内容					
授業科目	オフィス活用					
実務家教員授業						
学部・学科	情報ビジネス学科 2年制					
履修年次	2年次					
開講学期	2学期、3学期					
科目区分	選択					
授業方法	講義					
授業時間	80時間					
授業コマ数	96コマ					
授業概要	Excel及びWordの応用操作並びに関数の効果的な使用法を習得する					
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る					
達成目標	MOS Excel及びWordレベルの操作を習得する					
教科書	テキスト及び問題集					
特記						
授業計画	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32	Excel総合演習1 Excel総合演習2 Excel総合演習3 Excel総合演習4 Excel総合演習5 Excel総合演習6 Excel総合演習7 Excel総合演習8 Excel総合演習9 Excel総合演習10 Excel総合演習11 Excel総合演習12 Excel総合演習13 Excel総合演習14 Excel総合演習15 Excel総合演習16	33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64	Excel総合演習17 Excel総合演習18 Excel総合演習19 Excel総合演習20 Excel総合演習21 Excel総合演習22 Excel総合演習23 Wordl総合演習1 Wordl総合演習2 Wordl総合演習3 Wordl総合演習4 Wordl総合演習5 Wordl総合演習6 Wordl総合演習7 Wordl総合演習8 Wordl総合演習9	65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96	Wordl総合演習10 Wordl総合演習11 Wordl総合演習12 Wordl総合演習13 Wordl総合演習14 Wordl総合演習15 Wordl総合演習16 Wordl総合演習17 Wordl総合演習18 Wordl総合演習19 Wordl総合演習20 Wordl総合演習21 Wordl総合演習22 Wordl総合演習23 Wordl総合演習24 Wordl総合演習25
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況					
備考						

授業概要(シラバス)

タイトル	内容					
授業科目	パソコン実習					
実務家教員授業						
学部・学科	情報ビジネス学科 2年制					
履修年次	2年次					
開講学期	2学期					
科目区分	選択					
授業方法	講義					
授業時間	80時間					
授業コマ数	96コマ					
授業概要	PowerPointの基礎操作の確認と応用操作を理解する					
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る					
達成目標	MOS PowerPointレベルの操作を習得する					
教科書	テキスト及び問題集					
特記						
授業計画	1	PowerPoint総合演習1	33	PowerPoint総合演習17	65	PowerPoint総合演習33
	2		34		66	
	3	PowerPoint総合演習2	35	PowerPoint総合演習18	67	PowerPoint総合演習34
	4		36		68	
	5	PowerPoint総合演習3	37	PowerPoint総合演習19	69	PowerPoint総合演習35
	6		38		70	
	7	PowerPoint総合演習4	39	PowerPoint総合演習20	71	PowerPoint総合演習36
	8		40		72	
	9	PowerPoint総合演習5	41	PowerPoint総合演習21	73	PowerPoint総合演習37
	10		42		74	
	11	PowerPoint総合演習6	43	PowerPoint総合演習22	75	PowerPoint総合演習38
	12		44		76	
	13	PowerPoint総合演習7	45	PowerPoint総合演習23	77	PowerPoint総合演習39
	14		46		78	
	15	PowerPoint総合演習8	47	PowerPoint総合演習24	79	PowerPoint総合演習40
	16		48		80	
	17	PowerPoint総合演習9	49	PowerPoint総合演習25	81	PowerPoint総合演習41
	18		50		82	
	19	PowerPoint総合演習10	51	PowerPoint総合演習26	83	PowerPoint総合演習42
	20		52		84	
	21	PowerPoint総合演習11	53	PowerPoint総合演習27	85	PowerPoint総合演習43
	22		54		86	
	23	PowerPoint総合演習12	55	PowerPoint総合演習28	87	PowerPoint総合演習44
	24		56		88	
	25	PowerPoint総合演習13	57	PowerPoint総合演習29	89	PowerPoint総合演習45
	26		58		90	
	27	PowerPoint総合演習14	59	PowerPoint総合演習30	91	PowerPoint総合演習46
	28		60		92	
	29	PowerPoint総合演習15	61	PowerPoint総合演習31	93	PowerPoint総合演習47
	30		62		94	
	31	PowerPoint総合演習16	63	PowerPoint総合演習32	95	PowerPoint総合演習48
	32		64		96	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況					
備考						

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	基本情報総合	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	1学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	40時間	
授業コマ数	48コマ	
授業概要	基本情報技術者試験にむけた分野別演習・総合演習を行う	
授業の進め方	問題演習を中心に特殊項目に関しては講義を行い知識を習得する	
達成目標	基本情報技術者試験に合格する	
教科書	オリジナルテキスト、問題集	
特記		
授業計画	1 基本情報分野別演習1 2 3 基本情報分野別演習2 4 5 基本情報分野別演習3 6 7 基本情報分野別演習4 8 9 基本情報分野別演習5 10 11 基本情報分野別演習6 12 13 基本情報分野別演習7 14 15 基本情報分野別演習8 16 17 基本情報分野別演習9 18 19 基本情報分野別演習10 20 21 基本情報分野別演習11 22 23 基本情報分野別演習12 24	25 基本情報分野別演習13 26 27 基本情報分野別演習14 28 29 基本情報分野別演習15 30 31 基本情報分野別演習16 32 33 基本情報分野別演習17 34 35 基本情報分野別演習18 36 37 基本情報総合模擬試験1 38 39 基本情報総合模擬試験2 40 41 基本情報総合模擬試験3 42 43 基本情報総合模擬試験4 44 45 基本情報総合模擬試験5 46 47 基本情報総合模擬試験6 48
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容			
授業科目	CASL			
実務家教員授業				
学部・学科	情報ビジネス学科2年制			
履修年次	2年次			
開講学期	1学期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
授業時間	40時間			
授業コマ数	48コマ			
授業概要	基本情報技術者試験にむけた分野別演習・総合演習を行う			
授業の進め方	問題演習を中心に特殊項目に関しては講義を行い知識を習得する			
達成目標	基本情報技術者試験に合格する			
教科書	オリジナルテキスト、問題集			
特記				
授業計画	1	CASL分野別演習1	25	CASL分野別演習13
	2		26	
	3	CASL分野別演習2	27	CASL分野別演習14
	4		28	
	5	CASL分野別演習3	29	CASL分野別演習15
	6		30	
	7	CASL分野別演習4	31	CASL分野別演習16
	8		32	
	9	CASL分野別演習5	33	CASL分野別演習17
	10		34	
	11	CASL分野別演習6	35	CASL分野別演習18
	12		36	
	13	CASL分野別演習7	37	CASL分野別演習19
	14		38	
	15	CASL分野別演習8	39	CASL分野別演習20
	16		40	
	17	CASL分野別演習9	41	CASL分野別演習21
	18		42	
	19	CASL分野別演習10	43	CASL分野別演習22
	20		44	
	21	CASL分野別演習11	45	CASL分野別演習23
	22		46	
	23	CASL分野別演習12	47	CASL分野別演習24
	24		48	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況			
備考				

授業概要(シラバス)

タイトル	内容			
授業科目	C言語基礎			
実務家教員授業				
学部・学科	情報ビジネス学科2年制			
履修年次	2年次			
開講学期	1学期、2学期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
授業時間	40時間			
授業コマ数	48コマ			
授業概要	基本情報技術者試験にむけた分野別演習・総合演習を行う			
授業の進め方	問題演習を中心に特殊項目に関しては講義を行い知識を習得する			
達成目標	基本情報技術者試験に合格する			
教科書	オリジナルテキスト、問題集			
特記				
授業計画	1	C言語分野別演習1	25	C言語分野別演習13
	2		26	C言語分野別演習13
	3	C言語分野別演習2	27	C言語分野別演習14
	4		28	C言語分野別演習14
	5	C言語分野別演習3	29	C言語分野別演習15
	6		30	C言語分野別演習15
	7	C言語分野別演習4	31	C言語分野別演習16
	8		32	C言語分野別演習16
	9	C言語分野別演習5	33	C言語分野別演習17
	10		34	C言語分野別演習17
	11	C言語分野別演習6	35	C言語分野別演習18
	12		36	C言語分野別演習18
	13	C言語分野別演習7	37	C言語分野別演習19
	14		38	C言語分野別演習19
	15	C言語分野別演習8	39	C言語分野別演習20
	16		40	C言語分野別演習20
	17	C言語分野別演習9	41	C言語分野別演習21
	18		42	C言語分野別演習21
	19	C言語分野別演習10	43	C言語分野別演習22
	20		44	C言語分野別演習22
	21	C言語分野別演習11	45	C言語分野別演習23
	22		46	C言語分野別演習23
	23	C言語分野別演習12	47	C言語分野別演習24
	24		48	C言語分野別演習24
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況			
備考				

授業概要(シラバス)

タイトル	内容			
授業科目	C言語応用			
実務家教員授業				
学部・学科	情報ビジネス学科2年制			
履修年次	2年次			
開講学期	2学期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
授業時間	40時間			
授業コマ数	48コマ			
授業概要	基本情報技術者試験にむけた分野別演習・総合演習を行う			
授業の進め方	問題演習を中心に特殊項目に関しては講義を行い知識を習得する			
達成目標	基本情報技術者試験に合格する			
教科書	オリジナルテキスト、問題集			
特記				
授業計画	1	C言語応用演習1	25	C言語応用演習13
	2		26	
	3	C言語応用演習2	27	C言語応用演習14
	4		28	
	5	C言語応用演習3	29	C言語応用演習15
	6		30	
	7	C言語応用演習4	31	C言語応用演習16
	8		32	
	9	C言語応用演習5	33	C言語応用演習17
	10		34	
	11	C言語応用演習6	35	C言語応用演習18
	12		36	
	13	C言語応用演習7	37	C言語応用演習19
	14		38	
	15	C言語応用演習8	39	C言語応用演習20
	16		40	
	17	C言語応用演習9	41	C言語応用演習21
	18		42	
	19	C言語応用演習10	43	C言語応用演習22
	20		44	
	21	C言語応用演習11	45	C言語応用演習23
	22		46	
	23	C言語応用演習12	47	C言語応用演習24
	24		48	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況			
備考				

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	アルゴリズム	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	40時間	
授業コマ数	48コマ	
授業概要	システムの設計における設計方法の特徴及び方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	システムの上流工程で使用するドキュメント及びツールを使いこなせる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 システム化の目標と対象範囲 2 3 機能及び能力の定義 4 5 業務・組織及び利用者の要件 6 7 システム構成要件, 設計制約条件, 8 適格性確認要件 9 システム要件の評価及びレビュー 10 11 システム方式設計のタスク 12 13 システム方式設計の目的 14 15 ハードウェア・ソフトウェア・手作 16 業の機能分割 17 ハードウェア方式設計 18 19 ソフトウェア方式設計 20 21 システム処理方式設計 22 23 データベース方式設計 24	25 システム結合テストの設計 26 27 システム方式の評価及びレビュー 28 29 ソフトウェア要件定義のタスク 30 31 ソフトウェア要件の確立 32 33 ソフトウェア要件の評価及びレ 34 ビュー 35 業務分析や要件定義に用いられる手 36 法 37 ヒアリング 38 39 業務分析や要件定義に用いられる手 40 法 41 ソフトウェア方式設計のタスク 42 43 ソフトウェア詳細設計のタスク 44 45 ソフトウェア方式設計 46 47 ソフトウェア詳細設計 48
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	BASICプログラミング	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	40時間	
授業コマ数	48コマ	
授業概要	ソフトウェア開発に関する基礎的な知識習得を目的とする。要件に基づいたソフトウェア開発のプロセスや技法を学ぶ。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	ソフトウェア開発に関する基礎的な知識習得	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 ソフトウェアとは 2 3 開発プロセス 4 5 ライフサイクルモデル 6 7 ウォーターフォール型モデル 8 9 進化型モデル 10 11 アジャイルプロセス型モデル 12 13 開発計画 14 15 要求分析とは 16 17 要求獲得 18 19 要求仕様化 20 21 アーキテクチャ設計1 22 23 アーキテクチャ設計2 24	25 モジュール設計1 26 27 モジュール設計2 28 29 プログラミング 30 31 構造化プログラミング 32 33 データ指向アプローチ 34 35 コーディング技術 36 37 テスト工程 38 39 保守技法 40 41 再利用技法 42 43 構造化技法 44 45 オブジェクト指向の基礎概念 46 47 ユースケース抽出 48
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容					
授業科目	総合演習Ⅸ (接遇論マナー実践)					
実務家教員授業						
学部・学科	情報ビジネス学科 2年制					
履修年次	2年次					
開講学期	2学期、3学期					
科目区分	選択					
授業方法	講義					
授業時間	90時間					
授業コマ数	108コマ					
授業概要	ケース別の実践的なロールプレイングを行い、より実践的なトレーニングを行う。					
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る					
達成目標	社会人としてのマナーを身に付け実践できる					
教科書	オリジナルテキスト					
特記						
授業計画	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36	状況別挨拶練習1 状況別挨拶練習2 状況別挨拶練習3 電話応対ロールプレイング1 電話応対ロールプレイング2 電話応対ロールプレイング3 電話応対ロールプレイング4 電話応対ロールプレイング5 伝言記述練習1 伝言記述練習2 伝言記述練習3 伝言記述練習4 伝言記述練習5 電話応対ロールプレイング6 電話応対ロールプレイング7 電話応対ロールプレイング8 電話応対ロールプレイング9 電話応対ロールプレイング10	37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72	伝言復唱練習1 伝言復唱練習2 伝言復唱練習3 伝言復唱練習4 伝言復唱練習5 電話応対ロールプレイング11 電話応対ロールプレイング12 電話応対ロールプレイング13 電話応対ロールプレイング14 電話応対ロールプレイング15 電話応対ロールプレイング16 電話応対ロールプレイング17 電話応対ロールプレイング18 電話応対ロールプレイング19 電話応対ロールプレイング20 内線電話応対1 内線電話応対2 内線電話応対3	73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100 101 102 103 104 105 106 107 108	内線電話応対4 内線電話応対5 来客対応1 来客対応2 来客対応3 来客対応4 来客対応5 来客対応6 来客対応7 来客対応8 来客対応9 来客対応10 来客対応11 来客対応12 来客対応13 来客対応14 来客対応15 来客対応16
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定					
備考						

授業概要(シラバス)

タイトル	内容					
授業科目	接客応対マナー					
実務家教員授業						
学部・学科	情報ビジネス学科 2年制					
履修年次	2年次					
開講学期	2学期					
科目区分	選択					
授業方法	講義					
授業時間	90時間					
授業コマ数	108コマ					
授業概要	接客に関する実践的な学習をする					
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る					
達成目標	接客に関する実践的な演習を通じて、習得する					
教科書	オリジナルテキスト					
特記						
授業計画	1	接客販売、営業マナーとは1	37	店内接客の基本3	73	訪問の流れ4
	2		38		74	
	3	接客販売、営業マナーとは2	39	店内接客の基本4	75	訪問の流れ5
	4		40		76	
	5	接客販売、営業マナーとは3	41	店内接客の基本5	77	訪問の流れ6
	6		42		78	
	7	接客販売、営業マナーとは4	43	店内接客の基本6	79	実技演習6
	8		44		80	
	9	接客販売、営業マナーとは5	45	実技演習1	81	実技演習7
	10		46		82	
	11	接客販売、営業マナーとは6	47	実技演習2	83	実技演習8
	12		48		84	
	13	接客販売の心得1	49	実技演習3	85	実技演習9
	14		50		86	
	15	接客販売の心得2	51	実技演習4	87	実技演習10
	16		52		88	
	17	接客販売の心得3	53	実技演習5	89	実技演習11
	18		54		90	
	19	接客販売の心得4	55	営業の心得1	91	商談の進め方1
	20		56		92	
	21	接客販売の心得5	57	営業の心得2	93	商談の進め方2
	22		58		94	
	23	お客様の心理1	59	営業の心得3	95	商談の進め方3
	24		60		96	
	25	お客様の心理2	61	営業の心得4	97	商品説明1
	26		62		98	
	27	お客様の心理3	63	営業の心得5	99	商品説明2
	28		64		100	
	29	お客様の心理4	65	営業の心得6	101	商品説明3
	30		66		102	
	31	お客様の心理5	67	訪問の流れ1	103	総合演習1
	32		68		104	
	33	店内接客の基本1	69	訪問の流れ2	105	総合演習2
	34		70		106	
	35	店内接客の基本2	71	訪問の流れ3	107	効果測定
	36		72		108	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定					
備考						

授業概要(シラバス)

タイトル	内容					
授業科目	簿記会計実務					
実務家教員授業						
学部・学科	情報ビジネス学科 2年制					
履修年次	2年次					
開講学期	2学期					
科目区分	選択					
授業方法	講義					
授業時間	90時間					
授業コマ数	108コマ					
授業概要	財務諸表を理解し、会計の構造を学習する					
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る					
達成目標	会計上・税務上のポイントを捉え経理・財務の基礎的な業務知識を身に付ける					
教科書	オリジナルテキスト					
特記						
授業計画	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36	売掛債権管理1 売掛債権管理2 売掛債権管理3 売掛債権管理4 買掛債務管理1 買掛債務管理2 買掛債務管理3 買掛債務管理4 在庫管理1 在庫管理2 在庫管理3 在庫管理4 固定資産1 固定資産2 ソフトウェア管理1 ソフトウェア管理2 ソフトウェア管理3 ソフトウェア管理4	37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72	原価管理1 原価管理2 原価管理3 経費管理1 経費管理2 経費管理3 月次業務管理1 月次業務管理2 月次業務管理3 税効果計算業務1 税効果計算業務2 税効果計算業務3 税効果計算業務4 税効果計算業務5 税効果計算業務6 消費税申告業務1 消費税申告業務2 消費税申告業務3	73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100 101 102 103 104 105 106 107 108	消費税申告業務4 消費税申告業務5 消費税申告業務6 法人税申告業務1 法人税申告業務2 法人税申告業務3 法人税申告業務4 法人税申告業務5 法人税申告業務6 法人税申告業務7 法人税申告業務8 税務調査対応1 税務調査対応2 税務調査対応3 税務調査対応4 税務調査対応5 税務調査対応6 税務調査対応7
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト					
備考						

授業概要(シラバス)

タイトル	内容					
授業科目	総合演習 (ワープロ理論・実習)					
実務家教員授業						
学部・学科	情報ビジネス学科 2年制					
履修年次	2年次					
開講学期	1学期、2学期					
科目区分	選択					
授業方法	講義					
授業時間	90時間					
授業コマ数	108コマ					
授業概要	Excel及びWordの応用操作並びに関数の効果的な使用法を習得する					
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る					
達成目標	MOS Excel及びWordレベルの操作を習得する					
教科書	テキスト及び問題集					
特記						
授業計画	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36	Excel総合演習1 Excel総合演習2 Excel総合演習3 Excel総合演習4 Excel総合演習5 Excel総合演習6 Excel総合演習7 Excel総合演習8 Excel総合演習9 Excel総合演習10 Excel総合演習11 Excel総合演習12 Excel総合演習13 Excel総合演習14 Excel総合演習15 Excel総合演習16 Excel総合演習17 Excel総合演習18	37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72	Excel総合演習19 Excel総合演習20 Excel総合演習21 Excel総合演習22 Excel総合演習23 Excel総合演習24 Excel総合演習25 Excel総合演習26 Excel総合演習27 Excel総合演習28 Wordl総合演習1 Wordl総合演習2 Wordl総合演習3 Wordl総合演習4 Wordl総合演習5 Wordl総合演習6 Wordl総合演習7 Wordl総合演習8	73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100 101 102 103 104 105 106 107 108	Wordl総合演習9 Wordl総合演習10 Wordl総合演習11 Wordl総合演習12 Wordl総合演習13 Wordl総合演習14 Wordl総合演習15 Wordl総合演習16 Wordl総合演習17 Wordl総合演習18 Wordl総合演習19 Wordl総合演習20 Wordl総合演習21 Wordl総合演習22 Wordl総合演習23 Wordl総合演習24 Wordl総合演習25 Wordl総合演習26
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況					
備考						

授業概要(シラバス)

タイトル	内容					
授業科目	マーケティング実習					
実務家教員授業	○					
学部・学科	情報ビジネス学科 2年制					
履修年次	2年次					
開講学期	2学期、3学期					
科目区分	選択					
授業方法	講義					
授業時間	60時間					
授業コマ数	72コマ					
授業概要	マーケティングに関する知識を、実践を通して形にしていくことを目的とする。各分析手法を用い、企画立案までの過程と、企画書作成までのプロセスを学ぶ。					
授業の進め方	事前にテーマに沿った研究を行い、レポートにまとめ発表する					
達成目標	マーケティングの主目的である、利益向上のために必要な、顧客と企業のWIN-WINな関係作りとは何かを学び、各自企業、商品を取り上げ、分析を行う。また、実際に企画立案までの過程を経験する。					
教科書	オリジナルテキスト					
特記	担当講師は前職にて1年間の営業経験があり、その実績を踏まえ理論と共に実務上重要となるマーケティング手法も入れながら講義している					
授業計画	1	サービスステーション (SS) におけるマーケティング	25	企画立案8	49	企画立案20
	2		26		50	
	3	分析 (来店客分析) 1	27	企画立案9	51	企画立案21
	4		28		52	
	5	分析 (来店客分析) 2	29	企画立案10	53	企画立案22
	6		30		54	
	7	分析 (商品分析) 1	31	企画立案11	55	企画立案23
	8		32		56	
	9	分析 (商品分析) 2	33	企画立案12	57	企画立案24
	10		34		58	
	11	企画立案1	35	企画立案13	59	企画立案25
	12		36		60	
	13	企画立案2	37	企画立案14	61	企画立案26
	14		38		62	
	15	企画立案3	39	企画立案15	63	企画立案27
	16		40		64	
	17	企画立案4	41	企画立案16	65	企画立案28
	18		42		66	
	19	企画立案5	43	企画立案17	67	企画立案29
	20		44		68	
	21	企画立案6	45	企画立案18	69	企画立案30
	22		46		70	
	23	企画立案7	47	企画立案19	71	企画発表
	24		48		72	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% ディスカッションの貢献度合い、プレゼンテーション内容を総合的に見て判断する。					
備考						

授業概要(シラバス)

タイトル	内容					
授業科目	マーケティング概論					
実務家教員授業	○					
学部・学科	情報ビジネス学科 2年制					
履修年次	2年次					
開講学期	2学期					
科目区分	選択					
授業方法	講義					
授業時間	60時間					
授業コマ数	72コマ					
授業概要	各協会が提言するマーケティングの定義を学び、基本的なマーケティング知識を養う					
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る					
達成目標	STP理論や4P、7P分析、3C、SWOT分析等の各理論、分析方法の概要に触れながら、マーケティングへの理解を深める					
教科書	オリジナルテキスト					
特記	担当講師は前職にて1年間の営業経験があり、その実績を踏まえ理論と共に実務上重要となるマーケティング手法も入れながら講義している					
授業計画	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24	マーケティングの必要性 顧客満足とは1 顧客満足とは2 マーケティングの4P、4C 1 マーケティングの4P、4C 2 製品、商品、サービスの違い 1 製品、商品、サービスの違い 2 流通チャネル戦略、プロモーション戦略1 流通チャネル戦略、プロモーション戦略2 マーケティングと会社の目的 1 マーケティングと会社の目的 2 マーケティングと会社の目的 3	25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48	財務知識(決算書) 1 財務知識(決算書) 2 財務知識(損益計算書、貸借対照表) 1 財務知識(損益計算書、貸借対照表) 2 企業分析1 企業分析2 企業分析3 事例研究1 事例研究2 事例研究3 事例研究4 事例研究5	49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72	事例研究6 SSにおけるマーケティング1 SSにおけるマーケティング2 SSにおけるマーケティング3 演習(来店客分析) 1 演習(来店客分析) 2 演習(来店客分析) 3 演習(商品分析) 1 演習(商品分析) 2 演習(企画立案) 1 演習(企画立案) 2 演習(企画立案) 3
成績評価方法(試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況					
備考						

授業概要(シラバス)

タイトル	内容			
授業科目	給与計算実務			
実務家教員授業	○			
学部・学科	情報ビジネス学科 2年制			
履修年次	2年次			
開講学期	2学期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
授業時間	60時間			
授業コマ数	72コマ			
授業概要	日々の取引・決算処理・納税を中心に、財務分析の手法や、特殊会社会計についても学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	経理職に求められるより専門的で、実践的な知識を身に付ける			
教科書	オリジナルテキスト			
特記	担当講師は前職で4年間の経理事務経験を踏まえ、基礎的な経理職の知識と共に実務上重要と考えられる点も講義している			
授業計画	1 経理・総務の年間カリキュラム 2 ム 3 小切手・手形の実務上のポイント 4 ント 5 入出金伝票と現金出納帳1 6 7 入出金伝票と現金出納帳2 8 9 当座預金出納長と手形記入帳 10 1 11 当座預金出納長と手形記入帳 12 2 13 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理1 14 15 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理2 16 17 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理3 18 19 源泉所得税（給与）の徴収・納付事務1 20 21 源泉所得税（給与）の徴収・納付事務2 22 23 源泉所得税（給与）の徴収・納付事務3 24	25 源泉所得税（給与）の徴収・納付事務4 26 27 所得税の基礎知識1 28 29 所得税の基礎知識2 30 31 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）1 32 33 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）2 34 35 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）3 36 37 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）1 38 39 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）2 40 41 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）3 42 43 個人住民税の徴収及び納付事務1 44 45 個人住民税の徴収及び納付事務2 46 47 個人住民税の徴収及び納付事務3 48	49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72	印紙税の基礎知識1 印紙税の基礎知識2 受取利息の会計処理 消費税の会計処理 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）1 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）2 決算の流れ 決算対策 経営分析の基礎知識1 経営分析の基礎知識2 経営分析の基礎知識3 実務 効果測定1
成績評価方法(試験実施方法)	効果測定100% 講義後の効果測定の解答状況			
備考				

授業概要(シラバス)

タイトル	内容			
授業科目	経理事務総合			
実務家教員授業	○			
学部・学科	情報ビジネス学科 2年制			
履修年次	2年次			
開講学期	2学期、3学期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
授業時間	60時間			
授業コマ数	72コマ			
授業概要	税法の基礎知識を付け、消費税法における申告書や法人税法における別表四、別表一の作成を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	実践的な知識を身に付けることを目的とし、消費税法、法人税法の概要を掴み、各種書類（届出書や申告書）の理解を深める			
教科書	オリジナルテキスト			
特記	担当講師は前職で4年間の経理事務経験を踏まえ、基礎的な経理職の知識と共に実務上重要と考えられる点も講義している			
授業計画	1 消費税法の概要 2 3 納税義務者1 4 5 納税義務者2 6 7 課税対象取引1 8 9 課税対象取引2 10 11 課税対象取引3 12 13 非課税取引・免税取引1 14 15 非課税取引・免税取引2 16 17 非課税取引・免税取引3 18 19 基本税額計算1 20 21 基本税額計算2 22 23 基本税額計算3 24	25 簡易課税制度1 26 27 簡易課税制度2 28 29 申告・納付 30 31 法人税法総論1 32 33 法人税法総論2 34 35 法人税法総論3 36 37 別表四の作成1 38 39 別表四の作成2 40 41 別表四の作成3 42 43 別表四の作成4 44 45 別表一の作成1 46 47 別表一の作成2 48	49 別表一の作成3 50 51 別表一の作成4 52 53 法人事業税及び地方法人特別税の基礎知識1 54 55 法人事業税及び地方法人特別税の基礎知識2 56 57 法人事業税及び地方法人特別税の基礎知識3 58 59 法人事業税及び地方法人特別税の基礎知識4 60 61 法人事業税及び地方法人特別税の基礎知識5 62 63 法人住民税の基礎知識1 64 65 法人住民税の基礎知識2 66 67 法人住民税の基礎知識3 68 69 法人住民税の基礎知識4 70 71 効果測定 72	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 講義後の効果測定の解答状況			
備考				

授業概要(シラバス)

タイトル	内容					
授業科目	プログラミングⅡ					
実務家教員授業	○					
学部・学科	情報ビジネス学科 2年制					
履修年次	2年次					
開講学期	2学期					
科目区分	選択					
授業方法	講義					
授業時間	80時間					
授業コマ数	96コマ					
授業概要	HTMLの構文・PHPの構文を学びショッピングサイトに必要な技術を学ぶ					
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る					
達成目標	HTML・PHPを使いショッピングサイトを構築できる					
教科書	オリジナルテキスト					
特記	担当講師は前職でシステム開発を4年間担当した実績から、基本的なシステム開発知識、現状のシステム開発に重要な点を踏まえながら講義している					
授業計画	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32	インターネットの概要1 インターネットの概要2 インターネットの概要3 インターネットの概要4 HTMLの記述方法 HTMLの構成1 HTMLの記述方法 HTMLの構成2 HTMLの記述方法 HTMLの構成3 HTMLの記述方法 HTMLの構成4 スタイルシートの構成1 スタイルシートの構成2 PHPの文法1 PHPの文法2 制御構造1 制御構造2 配列1 配列2	33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64	配列のループ処理1 配列のループ処理2 フォームの作成1 フォームの作成2 リンクの作成1 リンクの作成2 クッキー1 クッキー2 セッション1 セッション2 PHPからMySQLへの接続1 PHPからMySQLへの接続2 PHPからMySQLへの接続3 ショッピングサイトの開発1 ショッピングサイトの開発2 ショッピングサイトの開発3	65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96	ショッピングサイトの開発4 ショッピングサイトの開発5 ショッピングサイトの開発6 ショッピングサイトの開発7 ショッピングサイトの開発8 クラス定義1 クラス定義2 クラス定義3 PDOクラスを利用したデータベース接続1 PDOクラスを利用したデータベース接続2 PDOクラスを利用したデータベース接続3 PDOクラスを利用したデータベース接続4 Webシステム開発検証1 Webシステム開発検証2 Webシステム開発検証3 Webシステム開発検証4
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況					
備考						

授業概要(シラバス)

タイトル	内容					
授業科目	システム設計					
実務家教員授業	○					
学部・学科	情報ビジネス学科 2年制					
履修年次	2年次					
開講学期	2学期、3学期					
科目区分	選択					
授業方法	講義					
授業時間	80時間					
授業コマ数	96コマ					
授業概要	システムの設計における設計方法の特徴及び方法を学ぶ					
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る					
達成目標	システムの上流工程で使用するドキュメント及びツールを使いこなせる					
教科書	オリジナルテキスト					
特記	担当講師は前職でシステム開発を4年間担当した実績から、基本的なシステム開発知識、現状のシステム開発に重要な点を踏まえながら講義している					
授業計画	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32	システム化の目標と対象範囲 1 システム化の目標と対象範囲 2 機能及び能力の定義1 機能及び能力の定義2 業務・組織及び利用者の要件 1 業務・組織及び利用者の要件 2 業務・組織及び利用者の要件 3 システム構成要件, 設計制約 条件, 適格性確認要件1 システム構成要件, 設計制約 条件, 適格性確認要件2 システム構成要件, 設計制約 条件, 適格性確認要件3 システム要件の評価及びレ ビュー1 システム要件の評価及びレ ビュー2 システム方式設計のタスク1 システム方式設計のタスク2 システム方式設計の目的1 システム方式設計の目的2	33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64	ハードウェア・ソフトウェ ア・手作業の機能分割1 ハードウェア・ソフトウェ ア・手作業の機能分割2 ハードウェア・ソフトウェ ア・手作業の機能分割3 ハードウェア方式設計1 ハードウェア方式設計2 ハードウェア方式設計3 ソフトウェア方式設計1 ソフトウェア方式設計2 ソフトウェア方式設計3 システム処理方式設計1 システム処理方式設計2 システム処理方式設計3 データベース方式設計1 データベース方式設計2 データベース方式設計3 システム結合テストの設計1	65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96	システム方式の評価及びレ ビュー 業務分析や要件定義に用いら れる手法 インタフェース設計 モックアップ及びプロタイ プ1 モックアップ及びプロタイ プ2 モックアップ及びプロタイ プ3 DFD 1 DFD 2 DFD 3 E-R 図1 E-R 図2 E-R 図3 ソフトウェア方式設計のタス ク ソフトウェア詳細設計のタス ク ソフトウェア方式設計 ソフトウェア詳細設計
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況					
備考						

授業概要(シラバス)

タイトル	内容					
授業科目	システム設計演習					
実務家教員授業	○					
学部・学科	情報ビジネス学科 2年制					
履修年次	2年次					
開講学期	2学期、3学期					
科目区分	選択					
授業方法	講義					
授業時間	80時間					
授業コマ数	96コマ					
授業概要	GUI環境の特徴・エンドユーザーの特長によるインターフェイスの考慮を学び、インターフェイスを構築できるように実習する					
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る					
達成目標	仕様書を元にユーザーインターフェイスを意識したウィンドウズ設計ができる					
教科書	オリジナルテキスト					
特記	担当講師は前職でシステム開発を4年間担当した実績から、基本的なシステム開発知識、現状のシステム開発に重要な点を踏まえながら講義している					
授業計画	1	ユーザーインタフェイスの考慮	33	演習問題2	65	Windowsアプリケーション1
	2		34		66	
	3	ユーザーインタフェイスの考慮	35	AWTとは レイアウトマネージ	67	Windowsアプリケーション2
	4		36		68	
	5	ユーザーインタフェイスの考慮	37	AWTとは レイアウトマネージ	69	Windowsアプリケーション3
	6		38		70	
	7	アプレットとは1	39	AWTとは レイアウトマネージ	71	メニュー 演習問題1
	8		40		72	
	9	アプレットとは2	41	AWTコンポーネント1	73	メニュー 演習問題2
	10		42		74	
	11	アプレットとは3	43	AWTコンポーネント2	75	メニュー 演習問題3
	12		44		76	
	13	Eclipseの操作説明1	45	AWTコンポーネント3	77	スレッド
	14		46		78	
	15	Eclipseの操作説明2	47	AWTイベントモデル1	79	UML1
	16		48		80	
	17	Eclipseの操作説明3	49	AWTイベントモデル2	81	UML2
	18		50		82	
	19	グラフィックス1	51	AWTイベントモデル3	83	UML3
	20		52		84	
	21	グラフィックス2	53	AWTイベントモデル4	85	開発モデル1
	22		54		86	
	23	グラフィックス3	55	イベント処理1	87	開発モデル2
	24		56		88	
	25	イメージの表示 HTMLパラメー	57	イベント処理2	89	開発モデル3
	26		58		90	
	27	イメージの表示 HTMLパラメー	59	イベント処理3	91	開発モデル4
	28		60		92	
	29	イメージの表示 HTMLパラメー	61	演習問題3	93	総合演習1
	30		62		94	
	31	演習問題1	63	演習問題4	95	総合演習2
	32		64		96	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況					
備考						

授業概要(シラバス)

タイトル	内容					
授業科目	システム開発実習					
実務家教員授業	○					
学部・学科	情報ビジネス学科 2年制					
履修年次	2年次					
開講学期	2学期					
科目区分	選択					
授業方法	講義					
授業時間	80時間					
授業コマ数	96コマ					
授業概要	JAVAの環境開発から基本的な命令、ウインドウズのアプリケーション開発まで行う					
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る					
達成目標	JAVAを利用してオブジェクト指向プログラミング技術とオブジェクト指向を学ぶ					
教科書	オリジナルテキスト					
特記	担当講師は前職でシステム開発を4年間担当した実績から、基本的なシステム開発知識、現状のシステム開発に重要な点を踏まえながら講義している					
授業計画	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32	Javaの概要・Javaの開発環境 1 Javaの概要・Javaの開発環境 2 Javaの概要・Javaの開発環境 3 Javaの概要・Javaの開発環境 4 Javaの概要・Javaの開発環境 5 Javaの言語仕様1 Javaの言語仕様2 Javaの言語仕様3 Javaの言語仕様4 Javaの言語仕様5 Javaの言語仕様6 クラスとオブジェクト オブジェクトの生成 メソッドとフィールド メソッドのオーバーロード コンストラクタ	33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64	アクセス修飾子 継承とは メソッドのオーバーライド 修飾子 アクセス制御と変数のスコープ 抽象クラスと抽象メソッド インターフェース Javaのクラスライブラリ パッケージ StringとStringBuffer 便利なクラス Javaの例外処理 例外を発生させる方法 チェック例外と非チェック例外の処理方法 ストリーム テキストファイルの入出力	65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96	キーボードから入力 コマンドラインから入力 スレッドとは Threadクラス Runnableインターフェース Threadクラスのメソッド コレクションとは コレクション・フレームワークの利用 ジェネリクス ラムダ式 データベースアプリケーション Java MySQL用のJDBCドライバを入手する方法 JDBCの接続確認 JDBCによるデータアクセス 条件指定によるデータの取出し PreparedStatementの利用
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況					
備考						

授業概要(シラバス)

タイトル	内容					
授業科目	プレゼンテーション概論					
実務家教員授業						
学部・学科	情報ビジネス学科 2年制					
履修年次	2年次					
開講学期	3学期					
科目区分	選択					
授業方法	講義					
授業時間	80時間					
授業コマ数	96コマ					
授業概要	プレゼンテーションに関する基本的な考え方を講義形式で行う					
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る					
達成目標	プレゼンテーションに関する基礎的な考え方を身に付ける					
教科書	オリジナルテキスト					
特記						
授業計画	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32	プレゼンテーションとは1 プレゼンテーションとは2 プレゼンテーションとは3 プレゼンテーションの目的1 プレゼンテーションの目的2 プレゼンテーションの目的3 プレゼンテーションの種類1 プレゼンテーションの種類2 プレゼンテーションの種類3 身近にあるプレゼンテーションの機会1 身近にあるプレゼンテーションの機会2 身近にあるプレゼンテーションの機会3 ターゲット 聞き手は誰かを考える1 ターゲット 聞き手は誰かを考える2 ターゲット 聞き手は誰かを考える3 表現方法 聞き手に合った言葉使いとは1	33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64	表現方法 聞き手に合った言葉使いとは2 表現方法 聞き手に合った言葉使いとは3 より伝わる具体例の導き方1 より伝わる具体例の導き方2 より伝わる具体例の導き方3 共感が人を動かす1 共感が人を動かす2 聞き手を飽きさせない技術1 聞き手を飽きさせない技術2 聞き手を飽きさせない技術3 聞き手を飽きさせない技術4 聞き手を飽きさせない技術5 聞き手を飽きさせない技術6 聞き手を飽きさせない技術7 聞き手を飽きさせない技術8 聞き手を飽きさせない技術9	65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96	聞き手を飽きさせない技術実践1 聞き手を飽きさせない技術実践2 聞き手を飽きさせない技術実践3 聞き手を飽きさせない技術実践4 聞き手を飽きさせない技術実践5 聞き手を飽きさせない技術実践6 聞き手を飽きさせない技術実践7 聞き手を飽きさせない技術実践8 聞き手を飽きさせない技術実践9 聞き手を飽きさせない技術実践10 聞き手を飽きさせない技術実践11 聞き手を飽きさせない技術実践12 聞き手を飽きさせない技術実践13 聞き手を飽きさせない技術実践14 聞き手を飽きさせない技術実践15 聞き手を飽きさせない技術実践16
成績評価方法(試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況					
備考						

授業概要(シラバス)

タイトル	内容				
授業科目	卒業研究				
実務家教員授業	○				
学部・学科	情報ビジネス学科 2年制				
履修年次	2年次				
開講学期	2学期、3学期				
科目区分	選択				
授業方法	講義				
授業時間	80時間				
授業コマ数	96コマ				
授業概要	システム開発をグループワークで進め、個々の役割を発揮し作成を進めていく				
授業の進め方	グループワークによりシステムを開発する				
達成目標	システム開発を演習で行い、開発に必要な知識を活かせる				
教科書	オリジナルテキスト				
特記	担当講師は前職でシステム開発を4年間担当した実績から、基本的なシステム開発知識、現状のシステム開発に重要な点を踏まえながら講義している				
授業計画	1 チーム編成, ユニット編成, 開発計画1 2 3 チーム編成, ユニット編成, 開発計画2 4 5 仕様策定1 6 7 仕様策定2 8 9 外部設計書の作成, 開発スケジュールの見積もり1 10 11 外部設計書の作成, 開発スケジュールの見積もり2 12 13 外部設計書の作成, 開発スケジュールの見積もり3 14 15 発注用プレゼン資料の作成1 16 17 発注用プレゼン資料の作成2 18 19 発注用プレゼン資料の作成3 20 21 発注用プレゼン資料の作成4 22 23 内部設計書の作成1 24 25 内部設計書の作成2 26 27 内部設計書の作成3 28 29 内部設計書の作成4 30 31 テスト仕様書作成1 32	33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64	テスト仕様書作成2 テスト仕様書作成3 テスト仕様書作成4 テスト仕様書作成5 外製部およびその内部設計書の受領1 外製部およびその内部設計書の受領2 外製部およびその内部設計書の受領3 外製部およびその内部設計書の受領4 外製部およびその内部設計書の受領5 統合実装1 統合実装2 統合実装3 テスト実施 作成したチーム活動資料の整理1 作成したチーム活動資料の整理2 作成したチーム活動資料の整理3	65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96	成果発表用プレゼン資料の作成1 成果発表用プレゼン資料の作成2 成果発表用プレゼン資料の作成3 成果発表用プレゼン資料の作成4 成果発表用プレゼン資料の作成5 成果発表用プレゼン資料の作成6 成果発表用プレゼン資料の作成7 成果発表用プレゼン資料の作成8 成果発表用プレゼン資料の作成9 成果発表用プレゼン資料の作成10 成果発表用プレゼン資料の作成11 成果発表用プレゼン資料の作成12 成果発表用プレゼン資料の作成13 成果発表用プレゼン資料の作成14 成果発表用プレゼン資料の作成15 アプリケーションの機能の成果発表
成績評価方法(試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、成果発表の完成度				
備考					

授業概要(シラバス)

タイトル		内容			
授業科目	英語				
実務家教員授業					
学部・学科	情報ビジネス学科 2年制				
履修年次	2年次				
開講学期	通年				
科目区分	選択				
授業方法	講義				
授業時間	120時間				
授業コマ数	144コマ				
授業概要	基本的な日常会話、英単語を習得				
授業の進め方	講義並びに反復練習と効果測定				
達成目標	場面別の簡単な英会話を習得する				
教科書	テキスト及び参考書				
特記					
授業計画	1	基本的な英単語1	49	基本の英会話5	97
	2		50		98
	3	基本的な英単語2	51	基本の英会話6	99
	4		52		100
	5	基本的な英単語3	53	基本の英会話7	101
	6		54		102
	7	基本的な英単語4	55	基本の英会話8	103
	8		56		104
	9	基本的な英単語5	57	基本の英会話9	105
	10		58		106
	11	基本的な英単語6	59	基本の英会話10	107
	12		60		108
	13	基本的な英単語7	61	覚えて便利な日常会話フレーズ1	109
	14		62		110
	15	基本的な英単語8	63	覚えて便利な日常会話フレーズ2	111
	16		64		112
	17	基本的な英単語9	65	覚えて便利な日常会話フレーズ3	113
	18		66		114
	19	基本的な英単語10	67	覚えて便利な日常会話フレーズ4	115
	20		68		116
	21	熟語1	69	覚えて便利な日常会話フレーズ5	117
	22		70		118
	23	熟語2	71	覚えて便利な日常会話フレーズ6	119
	24		72		120
	25	熟語3	73	覚えて便利な日常会話フレーズ7	121
	26		74		122
	27	熟語4	75	覚えて便利な日常会話フレーズ8	123
	28		76		124

29	熟語5	77	覚えて便利な日常会話フレーズ9	125
30		78		126
31	熟語6	79	覚えて便利な日常会話フレーズ10	127
32		80		128
33	熟語7	81	場面別英会話1	129
34		82		130
35	熟語8	83	場面別英会話2	131
36		84		132
37	熟語9	85	場面別英会話3	133
38		86		134
39	熟語10	87	場面別英会話4	135
40		88		136
41	基本の英会話1	89	場面別英会話5	137
42		90		138
43	基本の英会話2	91	場面別英会話6	139
44		92		140
45	基本の英会話3	93	場面別英会話7	141
46		94		142
47	基本の英会話4	95	場面別英会話8	143
48		96		144
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 授業毎実施の確認テストにおける科目解答状況			
備考				

日常会話応用8

日常会話応用9

日常会話応用10

日常会話応用11

日常会話応用12

日常会話応用13

日常会話応用14

日常会話応用15

日常会話応用16

日常会話応用17

授業概要(シラバス)

タイトル	内容				
授業科目	体育				
実務家教員授業	○				
学部・学科	情報ビジネス学科 2年制				
履修年次	2年次				
開講学期	3学期				
科目区分	選択				
授業方法	演習				
授業時間	60時間				
授業コマ数	72コマ				
授業概要	スキースノーボード実習				
授業の進め方	インストラクターからレクチャーを受ける				
達成目標	一定の滑りができるようになる				
教科書	オリジナルテキスト				
特記	担当講師は現役スキーインストラクターからの講習				
授業計画	1	実習1	25	実習13	49
	2		26		50
	3	実習2	27	実習14	51
	4		28		52
	5	実習3	29	実習15	53
	6		30		54
	7	実習4	31	実習16	55
	8		32		56
	9	実習5	33	実習17	57
	10		34		58
	11	実習6	35	実習18	59
	12		36		60
	13	実習7	37	実習19	61
	14		38		62
	15	実習8	39	実習20	63
	16		40		64
	17	実習9	41	実習21	65
	18		42		66
	19	実習10	43	実習22	67
	20		44		68
	21	実習11	45	実習23	69
	22		46		70
	23	実習12	47	実習24	71
	24		48		72
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験100% 実技試験における科目解答状況				
備考					

授業概要(シラバス)

タイトル	内容				
授業科目	経営学概論				
実務家教員授業					
学部・学科	情報ビジネス学科 2年制				
履修年次	2年次				
開講学期	2学期、3学期				
科目区分	選択				
授業方法	講義				
授業時間	60時間				
授業コマ数	72コマ				
授業概要	社会の基本的な成り立ちや考え方・専門用語を理解する				
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着				
達成目標	社会人として必要な会社の仕組み・専門用語を身に付ける				
教科書	テキスト及び参考書				
特記					
授業計画	1	企業のライフステージ1	25	企業を取り巻くリスク1	49
	2		26		50
	3	企業のライフステージ2	27	企業を取り巻くリスク2	51
	4		28		52
	5	企業のライフステージ3	29	企業を取り巻くリスク3	53
	6		30		54
	7	経営理念と経営戦略1	31	外部環境分析の重要性、マク	55
	8		32	ロ環境分析・業界分析1	56
	9	経営理念と経営戦略2	33	外部環境分析の重要性、マク	57
	10		34	ロ環境分析・業界分析2	58
	11	経営理念と経営戦略3	35	外部環境分析の重要性、マク	59
	12		36	ロ環境分析・業界分析3	60
	13	経営企画の必要性、事業承継	37	利益管理、予算管理1	61
	14	1	38		62
	15	経営企画の必要性、事業承継	39	利益管理、予算管理2	63
	16	2	40		64
	17	経営企画の必要性、事業承継	41	利益管理、予算管理3	65
	18	3	42		66
	19	中小企業の資金調達1	43	企業形態としての会社、株式	67
	20		44	会社の機関1	68
	21	中小企業の資金調達2	45	企業形態としての会社、株式	69
	22		46	会社の機関2	70
	23	中小企業の資金調達3	47	企業形態としての会社、株式	71
	24		48	会社の機関3	72
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況				
備考					

授業概要(シラバス)

タイトル	内容				
授業科目	簿記 1級総合				
実務家教員授業					
学部・学科	情報ビジネス学科 2年制				
履修年次	2年次				
開講学期	3学期				
科目区分	選択				
授業方法	講義				
授業時間	60時間				
授業コマ数	72コマ				
授業概要	会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計について、より詳細に				
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る				
達成目標	簿記1級検定合格程度の会計知識および計算技術の習得を目的とする				
教科書	オリジナルテキスト				
特記					
授業計画	1	現金預金、債権の譲渡、デリバティブ取引、有価証券、リース取引1	25	連結会計1	49
	2		26		50
	3	現金預金、債権の譲渡、デリバティブ取引、有価証券、リース取引2	27	連結会計2	51
	4		28		52
	5	貸倒引当金、ヘッジ会計、減損会計、社債、退職給付会計1	29	キャッシュフロー計算書、企業結合1	53
	6		30		54
	7	貸倒引当金、ヘッジ会計、減損会計、社債、退職給付会計2	31	キャッシュフロー計算書、企業結合2	55
	8		32		56
	9	資産除去債務、セール・アンド・リースバック取引、ストック・オプション1	33	返品調整引当金、外貨建有価証券(減損)、ヘッジ会計1	57
	10		34		58
	11	資産除去債務、セール・アンド・リースバック取引、ストック・オプション2	35	返品調整引当金、外貨建有価証券(減損)、ヘッジ会計2	59
	12		36		60
	13	自己株式、為替予約、外貨建有価証券、圧縮記帳1	37	本支店会計総合問題(在外支店)1	61
	14		38		62
	15	自己株式、為替予約、外貨建有価証券、圧縮記帳2	39	本支店会計総合問題(在外支店)2	63
	16		40		64
	17	売価還元原価法、転換社債1	41	本支店会計総合問題(決算整理後合併残高試算表)1	65
	18		42		66
	19	売価還元原価法、転換社債2	43	本支店会計総合問題(決算整理後合併残高試算表)2	67
	20		44		68
	21	電子記録債権、特別目的会社、剰余金の配当、固定資産1	45	決算整理後残高試算表作成(会計上の変更)1	69
	22		46		70
	23	電子記録債権、特別目的会社、剰余金の配当、固定資産2	47	決算整理後残高試算表作成(会計上の変更)2	71
	24		48		72
成績評価方法(試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況				
備考					

学ぶ
決算整理後残高試算表作成 (委託販売) 1
決算整理後残高試算表作成 (委託販売) 2
損益計算書作成 (各種財務諸 表金額算定) 1
損益計算書作成 (各種財務諸 表金額算定) 2
損益計算書作成 (財務諸表の 注記に関する金額算定) 1
損益計算書作成 (財務諸表の 注記に関する金額算定) 2
連結損益計算書、連結貸借対 照表1
連結損益計算書、連結貸借対 照表2
包括利益
会計上の変更
総合問題対策 (テスト形式の 問題解説_基礎編) 1
総合問題対策 (テスト形式の 問題解説_基礎編) 2

授業概要(シラバス)

タイトル	内容				
授業科目	簿記 高等商業簿記論				
実務家教員授業					
学部・学科	情報ビジネス学科 2年制				
履修年次	2年次				
開講学期	2学期				
科目区分	選択				
授業方法	講義				
授業時間	60時間				
授業コマ数	72コマ				
授業概要	資産負債中心観を主体とした理論体系を学び現行基準との整合性、課題を学				
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る				
達成目標	現行基準の理論体系の理解を目的とする				
教科書	オリジナルテキスト				
特記					
授業計画	1	連結財務諸表総論 (入門編)	25	連結会計12	49
	2		26	連結会計13	50
	3	連結会計1	27	連結会計13	51
	4		28	連結会計14	52
	5	連結会計2	29	連結会計14	53
	6		30	連結会計15	54
	7	連結会計3	31	連結会計15	55
	8		32	在外子会社1	56
	9	連結会計4	33	在外子会社1	57
	10		34	在外子会社2	58
	11	連結会計5	35	在外子会社2	59
	12		36	在外子会社3	60
	13	連結会計6	37	在外子会社3	61
	14		38	在外子会社4	62
15	連結会計7	39	在外子会社4	63	
16		40	在外子会社5	64	
17	連結会計8	41	在外子会社5	65	
18		42	在外子会社6	66	
19	連結会計9	43	在外子会社6	67	
20		44	企業結合 (入門編)	68	
21	連結会計10	45	企業結合 (入門編)	69	
22		46	事業分離1	70	
23	連結会計11	47	事業分離1	71	
24		48		72	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況				
備考					

ぶ
事業分離2
事業分離3
キャッシュフロー計算書1
キャッシュフロー計算書2
キャッシュフロー計算書3
キャッシュフロー計算書4
キャッシュフロー計算書5
連結キャッシュフロー計算書1
連結キャッシュフロー計算書2
連結キャッシュフロー計算書3
連結キャッシュフロー計算書4
連結キャッシュフロー計算書5

授業概要(シラバス)

タイトル	内容				
授業科目	簿記 会計学				
実務家教員授業					
学部・学科	情報ビジネス学科 2年制				
履修年次	2年次				
開講学期	1学期				
科目区分	選択				
授業方法	講義				
授業時間	60時間				
授業コマ数	72コマ				
授業概要	資産負債中心観を主体とした理論体系を学び現行基準との整合性、課題を学				
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る				
達成目標	現行基準の理論体系の理解を目的とする				
教科書	オリジナルテキスト				
特記					
授業計画	1	財務諸表 (入門編) 1	25	リース取引 (入門編) 3	49
	2		26		50
	3	財務諸表 (入門編) 2	27	リース取引 (入門編) 4	51
	4		28		52
	5	有価証券 (入門編) 1	29	固定資産の減損 (入門編) 1	53
	6		30		54
	7	有価証券 (入門編) 2	31	固定資産の減損 (入門編) 2	55
	8		32		56
	9	デリバティブ取引・ヘッジ会	33	研究開発費とソフトウェア	57
	10	計 (入門編) 1	34	(入門編) 1	58
	11	デリバティブ取引・ヘッジ会	35	研究開発費とソフトウェア	59
	12	計 (入門編) 2	36	(入門編) 2	60
	13	有形固定資産 (入門編) 1	37	繰延資産 (入門編)	61
	14		38		62
	15	有形固定資産 (入門編) 2	39	社債 (入門編)	63
	16		40		64
	17	割引現在価値 (入門編) 1	41	引当金 (入門編) 1	65
	18		42		66
	19	割引現在価値 (入門編) 2	43	引当金 (入門編) 2	67
	20		44		68
	21	リース取引 (入門編) 1	45	退職給付 (入門編) 1	69
	22		46		70
	23	リース取引 (入門編) 2	47	退職給付 (入門編) 2	71
	24		48		72
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況				
備考					

